#### I. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

### 1. 学生確保の見通し

### (1) 入学定員設定の考え方

コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科の入学定員は 90 名とする。以下がこの定員設定にいたった経緯である。

現行のコミュニケーション学部コミュニケーション学科の入学定員は225名であり、3年次編入学定員の30名を加えると、1・2年次の定員は225名、3・4年次の定員は255名で収容定員は960名となっている。コミュニケーション学科は2015年度より「メディアコース」「企業コース」「グローバルコース」の3コース体制を敷き、1年次の秋に翌年度から所属するコース選択を行う。過去5年間の推移を見ると、225名前後の初年次の学生は、メディアコースと企業コースについては年度によってコース間の増減はあるもののあわせて150名程度の学生が選択している。他方、グローバルコースはコース単独で75名程度の学生の希望を安定して集めている(参考:次頁表1コミュニケーション学部コミュニケーション学科3コース所属学生数の推移)。

一方、本学のオープンキャンパス、高校生の進路選択のためのイベント等で高校生からの進学相談を受けるなかで、コミュニケーション学部に関心を持つ高校生には、現行の学科名称である「コミュニケーション学」に関心を持つグループと、語学に基礎を置く「異文化コミュニケーション」に関心を持つグループが存在することが分かってきた。ところが、学科の内側に設置されたグローバルコースは、高校生が志望校を検討、決定する段階で認識することは難しく、より受験生に分かりやすく学部の教育内容を伝えるために、3コースのなかからグローバルコースを独立させるかたちで「国際コミュニケーション学科」を設置し、「メディア社会学科(仮称)(2022年度に名称変更届出予定)」との2学科体制をとることとした。この改編に合わせて編入定員の30名を解消し若干名とし、うち15名を入学定員に繰り入れることで学部全体の入学定員を240名としたい(収容定員は960名で変更なし)。

上述の背景を踏まえ、コミュニケーション学部生のコース選択の現状に即して、メディア社会学科については 150 名の定員とし、国際コミュニケーション学科については 90 名とした。これまで安定して 75 名程度がグローバルコースを選択していることに加えて、この傾向に基づくと新たに入学定員に組み入れた 15 名のうち 3 分の 1 程度の 5 名程度が国際コミュニケーション学科を志望するであろうこと、また学科として独立させることで対外的な認知が上昇することによる潜在的な志願者の増加等を考慮し、定員を 90 名とした。

#### (2) 定員充足の見込み

上述のように、国際コミュニケーション学科の設置は、現行のコミュニケーション学部コミュニケーション学科に新規の教育課程を開設するというよりは、むしろこれまでの3コース制の教育課程を発展的に学科へと改組する位置づけとなる。したがって、本学部の近年の入試出願者の状況、これまでのコミュニケーション学部生のグローバルコース希望者の推移、そして、高校3年生の新学科への入学意志の有無が示されれば、充足の見込みがあると考えられる。加えて、本学科が今後競合すると想定される

国際系学部、学科の過去5年程度の入試動向が安定していることが示されれば、さらにその信頼性は向上するだろう。

#### ア. 本学既設学部の志願状況

本学既設学部(経済学部、経営学部、コミュニケーション学部、現代法学部)の倍率は、過去5年にわたって、志願倍率で8.84~9.44倍(志願者数/入学定員)、実質倍率で2.91~4.93倍(受験者数/合格者数)と高い水準で推移している。また、コミュニケーション学部単体で見ても、志願倍率で5.78~8.57倍、実質倍率で2.45~5.14倍と堅調な志願状況にある。このことから、国際コミュニケーション学科を含め、学部として今後も安定した志願者を集めることが想定される。(資料1 直近5年間の志願者・入学者等の状況)

#### イ. コミュニケーション学部コミュニケーション学科のコース選択の推移

次に、本学部に入学した学生が二年次以降どのコースを希望したのかを示したが以下の表1である。 グローバルコースが、国際コミュニケーション学科へと改組される。同コースは、過去5年間にわたって平均で75名程度が選択しているほか、直近の2019年度では84名と学年の4割近い学生が希望しており、現行でもコミュニケーション学部の学生の強い海外志向がうかがわれる。上述の実質倍率の推移と現在のコミュニケーション学部学生の希望を鑑みても、90名の入学定員は充足すると考えられる。

【表1 コミュニケーション学部コミュニケーション学科3コース所属学生数の推移】

コース名	2015	2016	2017	2018	2019	平均
メディアコース	62	81	88	99	106	87.2
企業コース	104	73	53	54	27	62.2
グローバルコース	68	73	79	68	84	74.4
合計	234	227	220	221	217	223.8

※ただし、2年次から各学部に所属する本学のキャリアデザインプログラム生については除く。

#### ウ. 国際コミュニケーション学科志望意向調査の結果

概要については、下記(3)「定員充足の根拠となる調査結果の概要」で記すが、国際コミュニケーション学科への高校生の志望意向を明らかにするために、本学入試イベントに参加した高校3年生を対象に平成29年8月、平成30年8月、令和元年8月および令和2年7月~9月にかけて、本学科の特色に対する魅力度、進学意向等を調査するアンケート調査を実施した(資料2 定員充足の根拠となる調査)。アンケート調査において国際コミュニケーション学科を「受験をしてみたい」、また合格した場合に「入学したい」と回答した比率に、入試イベントに参加した高校3年生の総数を掛け合わせた場合、調査を実施した過去4年間、それぞれ受験を希望する高校生の数は139~935名であり、合格を仮定した場合に入学を希望する学生数もまたは216~1160名となり、本学科の入学定員である90名の想定については、例年超過するという結果が得られた。

#### エ. 競合校の近年の出願状況

東京経済大学コミュニケーション学部は、これまで首都圏のメディア学やコミュニケーション学を学ぶ人文・社会科学系の学部として評価を受けてきたことから、国際コミュニケーション学科の設置に際しては、首都圏の人文・社会科学に基礎を置く国際系の学部、学科として認知されると想定される。この基準に沿って、競合校と考えられる学部、学科のリスト化を行ったのが「首都圏の国際系学部・学科の過去5年の入試実績」(資料3)である。

過去5年間の競合校全体の志願状況の推移をみると、志願倍率は5.14~7.43倍、また実質倍率は4.52~6.37倍(ただし、志願倍率非公表の東洋大学を除く)であり、高い倍率を維持しているとことから、本学科が競合すると想定される首都圏の国際系の学部、学科全体に対して高校生の強い需要が存在していることが分かる。また、新型コロナウイルスの影響を受け、高校生にも海外への派遣プログラムを持つことが多い国際系学部への進学に不安の広がった2020年度入試においても、倍率は低下したものの志願倍率は5.14倍、実質倍率は4.52倍を依然として維持しており、今後ウィルスの感染が長期的には収束していくことを考えると、長い目で見た場合には同領域への高校生の進学の希望は増加していくと考えられる。したがって、競合校の近年の出願状況を鑑みても、十分に入学定員を満たす需要が存在すると想定される。

#### (3) 定員充足の根拠となる調査結果の概要

本学科の定員充足の見込みについて検討するために、平成29年8月、平成30年8月、令和元年8月および令和2年7月~9月にかけて、本学入試イベントに参加した高校3年生を対象に、本学科の特色に対する魅力度、進学意向等を聴取するアンケート調査を実施した。アンケート調査の実施にあたり本学入試イベントに参加した高校3年生を対象とすることで、本学既設学部学科の志願者に近い層に対する調査となるようにした。

調査では、本学科の概要と説明文を回答者に提示し、その説明文を読んだ上で調査票に回答する形式をとった。説明文には学部学科名称、教育の特色、教育目標等を記載している(資料 2 )。なお、回答者は本学入試イベント参加者であるため、本学の特色、既設学部学科の学費、所在地等の情報の記載された冊子等を得ており、既設学部学科についての説明を受けた上で、この調査に回答した。

調査対象・調査方法の概要は以下の通りであった。

-											
調査対象	本質	本学入試イベントに参加した高校3年生									
調査方法	会場	調査	オンライン調査								
調査名	平成 29 年調査	平成 30 年調査	令和元年調査	令和2年調査							
調査回収数	1062	1097	312	140							
	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和2年							
調査時期	8月1日	8月1日	8月1日	7月22日							
	~8月27日	~8月26日	~8月25日	~9月20日							
調査実施機関	東京経済大学										

表2 高校3年生アンケート調査の概要

アンケート調査票は資料2に示す。

調査結果の概要を以下に示す。

### ○コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科の特色と魅力に関する質問

「設置の趣旨等を記載した書類」で本学科で身につく力や学修内容の特色としてあげた点について、下記 1~7の7項目に分け、それぞれ「大いに魅力を感じる」「魅力を感じる」「少しは魅力を感じる」「魅力を感じない」「わからない」の5つの選択肢から単一回答を求める形式で尋ねた。このうち、「大いに魅力を感じる」「魅力を感じる」「少しは魅力を感じる」を選んだ者を「魅力を感じる」として集計した結果は以下の通りである。

表3 高校3年生アンケート調査結果(本学科の特色と魅力に関する質問)

		29 年調		30 年調	令和え	元年調査	令和 2	2年調査
	n=	1062	n=	1097	n=	=312	n=	=140
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1. 多様なビジネスの現場に	867	81.6%	853	77.8%	255	81.7%	127	90.7%
対応した英語力の習得	007	01.070	033	11.070	233	01.770	121	30.770
2. レベルに応じて滞在期								
間・地域を選択できる柔軟な	806	75.9%	821	74.8%	256	82.1%	120	85.7%
異文化体験科目								
3. レベルに応じて滞在期								
間・地域を選択できる多様な	815	76.7%	810	73.8%	249	79.8%	118	84.3%
海外インターンシップ								
4. グローバル社会に共存す								
る多様な異文化への共感力	839	79.0%	833	75.9%	259	83.0%	122	87.1%
を養う								
5. グローバル化する観光を								
社会・産業の両面から複眼	829	78.1%	831	75.8%	251	80.4%	119	85.0%
的に理解する								
6. ヒト、モノ、情報の移動を								
支えるメディアや技術への理	825	77.7%	849	77.4%	259	83.0%	125	89.3%
解を深める								
7. 成績や目標に応じて提								
供される海外体験への経済	839	79.0%	824	75.1%	256	82.1%	122	87.1%
的支援								

注)H29年調査、H30年調査の無回答率はそれぞれ12.1~12.9%、13.2~14.0%

4回の調査のいずれでも、項目 1~7 のいずれについても「魅力を感じる」との回答が高い比率を占めており、本学科が特色として揚げた教育内容に対するニーズが安定的に大きいことがわかる。

○受験及び入学の意向に関する質問「この国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたいと思

いますか」という質問に対して、「受験をしてみたい」と回答した高校 3 年生は、平成 29 年調査で 85 名 (8.0%)、平成 30 年調査で 98 名 (8.9%)、令和元年調査で 66 名 (21.2%)、令和 2 年調査で 18 名 (12.9%) であった。「試験に合格しているとした場合、国際コミュニケーション学科(仮称)に入学したいと思いますか」という仮定の質問に対して、「入学したい」と回答した高校 3 年生は平成 29 年調査で 161 名 (15.2%)、平成 30 年調査で 158 名 (14.4%)、令和元年調査で 82 名 (26.3%)、令和 2 年調査で 28 名 (20.0%) であった。

なお、4回の調査を行なった本学入試イベントへの参加者は平成29年に6279名、平成30年に6798名、令和元年に6687名、令和2年に1186名であった(令和2年のみオンライン開催)。それぞれの年の高校3年生調査が含まれていた来場者調査における高校3年生の割合は、平成29年が67.1%、平成30年が64.2%、令和元年が66.0%、令和2年が90.9%であった。このイベント参加者数と高校3年生の割合から、本学入試イベントに参加していた高校3年生はそれぞれの年に、4212名、4366名、4411名、1078名と推定される。この参加高校3年生推定人数と前述の「受験をしてみたい」と回答した割合、「入学したい」と回答した割合から計算すると、受験意向者数は139~935名、合格を仮定した場合の入学意向者数は216~1160名となり、本学科の定員90名の想定を十分に超過する。

定員 90 名の設定は、このような志願者数の見込を総合的に勘案したものであり、十分に学生確保が可能な規模のものと考えられる。さらに、近年における本学コミュニケーション学部コミュニケーション学科への志願者数、入学者数はいずれも、18 歳人口の減少等にもかかわらず、継続して堅調に推移してきている。過去 5 年間の受験者数は平成 28 年度に 1208 名、平成 29 年度に 1877 名、平成 30 年度に 1262 名、平成 31 年度に 1366 名、令和 2 年度に 1450 名であった。コミュニケーション学部の定員超過率はこの 5 年間で常に 1.0 をわずかに超過しているが、合格者倍率は 2.45~5.14 倍となっており、十分な入学者選抜を行なった上で定員確保を実現してきた。この実績に鑑みると、本学科も定員を充足する学生確保が可能であるものと予想される。

#### 2. 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた取組については、本学の入試課、広報課とコミュニケーション学部が緊密に連携しながら、以下のような高校への丁寧な説明や積極的な広報活動を中心に実施する予定である。国際コミュニケーション学科については、届出後に本格的に取り組みを進めていくことになるが、これらの取組を継続的に行うことで、より多くの高校生からの志望を集められるよう、積極的に国際コミュニケーション学科の情報を開示し、学科の魅力を伝えていきたい。

#### (1) 入試課を中心とした取組の概要

入試課とコミュニケーション学部とが連携し、「高校訪問」、「高校内ガイダンス」、「出張講義」、「進学相談会」、「高校教員向け大学説明会」、「オープンキャンパス」、「大学見学の受け入れ」等を積極的に行い、受験生・保護者・高校教員等に対して、直接本学科の教育研究内容や特色、入試制度、取得可能な資格・検定、卒業後の進路等について伝える。また、それ以外にも「進学情報冊子」、「新聞・駅広告」、「大学の Web サイト」、「メールマガジン」、「LINE 公式アカウント」を通じて常に最新情報を更新し、積極的に発信する。

なお、新型コロナウイルスの流行で本学科を含め入試広報の仕方も変更を余儀なくされているが、

Web でのオープンキャンパスやオンライン相談など多様な取り組みを実施し、今後も社会の状況変化に合わせて工夫を凝らしながら積極的な情報発信を行い、受験生獲得に注力していく。

#### ①高校訪問

入試課・広報課の職員、入試アドバイザー・進学アドバイザーに任命された各課の職員が各高校の進路指導部等を訪問し、進路指導担当教諭へ学部学科の教育研究内容・特色、入試制度、卒業後の進路等について説明を行う。

#### ②高校内ガイダンス

主に入試課職員が各高校内にて生徒を対象に学校説明、学部学科における教育研究内容・特色、入試制度、卒業後の進路、学生生活等について説明を行う。上述の通り本格的な学科の情報提供は届出後になるが、2019年度は130校で実施した実績があり、同様の取組を継続する。

#### ③出張講義

国際コミュニケーション学科を新設するコミュニケーション学部をはじめ各学部の教員が高校を訪問し、生徒を対象に模擬講義を行う。2019 年度の実績は全学部で 19 件である。

### ④進学相談会

入試課職員の他、進学アドバイザーに任命された各課の職員が各地会場で開催される進学相談会に参加し、高校生・保護者・高校教員を対象に大学概要、学部学科の教育研究内容・特色、入試制度、卒業後の進路、学生生活等について説明を行う。

### ⑤高校教員向け大学説明会

本学主催の大学説明会を年に3回程度開催し、各高校の進路指導担当教員や第3学年担当教員に対して大学概要、学部学科の教育研究内容・特色、入試制度、卒業後の進路、学生生活等について説明を行う。2019年度は高校教員213名の参加があった。

# ⑥オープンキャンパス

年間最大の学生募集行事として、高校生・保護者等を対象にオープンキャンパスを実施している。2019年度は、夏季4回・秋季2回・冬季1回の合計7回開催し、7,548名の来場者を迎えた。開催時期によってプログラム内容は変化するが、学部学科の教育研究内容・特色の説明、体験授業、入試制度説明、卒業後の進路の説明、個別相談、施設見学等を通じてより深く大学・学部・学科での学びを理解していただくよう努めている。

なお、2020 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、オープンキャンパスは Web 開催とし、従来の本学および各学部を紹介するコンテンツの動画配信や、オンライン相談で対応した。今後の社会情勢を考慮しながら、引き続きこのような工夫を行う。

### ⑦大学見学の受け入れ

受験生・保護者等の個人、および高校等の団体からの依頼に対して、随時大学見学を受け入れている。 その際は、見学だけでなく大学概要、学部学科の教育研究内容・特色、入試制度、卒業後の進路、学生 生活等について説明を行う。

### ⑧進学情報冊子、新聞広告、駅広告、電車内広告

進学情報冊子は、高校内ガイダンスや進学相談会で受験生向けに配布されており、大学の情報を伝えるだけでなく、資料請求方法も記載されており利点がある。また、新聞広告、駅広告、電車内広告についても、不特定多数の方の目に触れることから認知度を上げる効果に大きな期待ができるため積極的に実施していきたい。

### (9)大学の Web サイト

Web サイトには大学案内冊子や進学情報冊子に掲載している情報の他に、動画コンテンツや最新記事・写真等を掲載し、本学の学びの魅力を発信していくものとなっている。受験生・保護者・高校教員等の理解をより深めていただくために、いつでも閲覧できるコンテンツの充実を図る。

#### ⑩メールマガジン、LINE 公式アカウント

本学に一定の関心を持った受験生は、メールマガジンやLINE公式アカウントに登録する場合がある。 このような受験生は本学への関心が既に高いものの、より確実に出願に繋げるため、メールやLINE の特長を生かし、新しい情報を即時に届けるよう活用していく。

### (2) 広報課を中心とした取組の概要

学生確保に向け以下の通り広報を行う。広報の際は「2022 年度設置構想中」の旨を明確にし、あわせて募集にかかわる事柄・内容は「変更の可能性がある」旨も明記する。入学希望者をはじめ、高等学校教員、社会一般に正しく理解していただけるよう努める。

#### ①国際コミュニケーション学科紹介パンフレットの制作

国際コミュニケーション学科のコンセプトに合ったパンフレットとフライヤーを作成する。ただし、同時期にコミュニケーション学科からメディア社会学科への名称変更届出を行うことから、両学科を含めた学部としてのパンフレットを制作する。入試課と連携し「大学説明会」、「オープンキャンパス」、「高校訪問」、「進学相談会」をはじめ、対面での広報を積極的に行い、受験生・高校教員・保護者等に対して、学部、両学科の教育内容や特色、入試制度などについて認知してもらう取組を行う。

#### ②各種進学情報誌への情報掲載

国際コミュニケーション学科の新設ならびにメディア社会学科への学科名称変更について、「進学情報冊子」「進学情報サイト」紹介・広告を積極的に実施し、幅広い地域の受験生に志願してもらえるよう 具体的な学びの内容や制度を掲出し魅力を伝えていく。

#### ③メディア

新聞、一般向け雑誌、Web サイト等に国際コミュニケーション学科の新設、およびメディア社会学科の名称変更について広告を掲出。また、メディア等に積極的にリリースを発信し取り上げてもらえる工夫を行う。

#### ④交通広告

常時展開している JR 中央線窓上広告等を活用し、コミュニケーション学部の両学科について紹介・広告を展開する。広く一般に認知してもらい、両学科の知名度をあげ最終的に志願者獲得につながる道筋をつくりたい。

#### ⑤本学 Web サイト

2020年12月に特設サイトを設置し、国際コミュニケーション学科・メディア社会学科への名称変更について訴求を行う。両学科のカリキュラム詳細や学生の育成のポイント、将来像などを提示し理解をしてもらえるよう努める。

#### (4) 学生納付金の設定の考え方

学生納付金の設定に当たっては、以下のとおりである。

本学科の学生納付金については、これまでのコミュニケーション学部コミュニケーション学科の一部分を発展させる観点から、コミュニケーション学科令和3年度新入生の学生納付金を前提に設定を行った。

新学科の特徴として海外体験を重視するため、新規に海外研修プログラムに関する部分の派遣経費・教員人件費などについてこれまでより充実させるという観点から主にこれらに関する部分について増額を行うこととした。なお、国際化に関わる学びも含め同学科の教育は、名称変更後のメディア社会学科(仮称)との両輪性において十全に発揮されるという観点から、メディア社会学科(仮称)について年額授業料を9千円増額、本学科の授業料を39千円増額として学費を設定した。これにより本学科の新入生納入金は1,294千円となる(2年次以降の毎年の納入金は1,144千円)。

この金額は、同分野を有する近隣大学の国際系学部の学費(資料4)と比較しても中位以下に相当するものであり、国際系学部への入試志願動向を踏まえても十分に競争力を有するものと考えている。

# II. 人材需要の動向等社会の要請

#### 1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科では、「国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における他者や他文化との対話力」の獲得という教育上の目的に基づいて、以下の能力を備えた人材の育成を目指す。

- 1. グローバル化社会を規定する多様な文化的、社会的事象についての幅広い知識と、その多様性から生まれる差異に対する寛容さを培うことで、内なるグローバル化が進む日本社会、企業組織の抱える課題の解決に取り組める人材
- 2. グローバル化社会の共通言語である英語の基礎的な運用能力を獲得すると同時に、学生時代

に自分自身の肌で海外の文化、生活を体験することで、国の内外を問わず積極的に異なる文化 的背景を持つ人々とのコミュニケーションが必要とされる領域で活躍する人材

3. 現行のコミュニケーション学科の強みであった多様なメディアの特性を理解しそれらを使い こなす能力に加えて、1、2項に記載した異文化対話力を加味することで、メディアを活用し た国際的な発信能力を有する人材

#### 2. 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

平成 23 年 5 月に内閣府に設置されたグローバル人材育成会議は、翌年 6 月に公表されたその審議まとめにおいて「国内外のグローバル化の流れはその速度を不可逆的に増している」こと、そしてグローバル人材に対する経済的社会的な需要・期待は「国境を越えた市場の拡大や海外での現地生産の強化等に対応した厚みのある中核的・専門的人材層の需要へと急拡大する様相を呈して」いると指摘している(資料 5 グローバル人材育成会議「グローバル人材育成戦略」)。このような状況に対して求められる具体的な「グローバル人材 ] 像として同まとめは、要素 I 「語学力・コミュニケーション能力」、要素 II 「主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感」、要素II「異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー」の三つの要素にわけ、これら要素を満たす人材の育成が求められるとしている。この要素 I および要素 III については、まさしく上記の国際コミュニケーション学科人材養成目的の 1 および 2 においておよそ等しい内容を掲げているところであり、また要素 II については本学建学の理念に掲げられた「進一層」および「責任と信用」が目指す人物像となっている。すなわち本学に設置する国際コミュニケーション学科の人材養成目的は、わが国が掲げるグローバル人材育成の目標に正しく合致するものと判断することができる。

一方、日本経済団体連合会が平成 27 年 3 月に公表した「グローバル人材の育成・活用に向けて求められる取り組みに関するアンケート結果」においては、経団連会員・非会員企業 463 社のアンケート結果に基づいて、「グローバル人材に求める素質、知識・能力」としては「海外との社会・文化、価値観の差に興味・関心を持ち、柔軟に対応する姿勢」(375 社中 284 社回答、75.7%)、「既成概念にとらわれず、チャレンジ精神を持ち続ける」(同 216 社回答、57.6%)、「英語をはじめ外国語によるコミュニケーション能力を有する」(同 177 社回答、47.2%)が上位の三項目であったことが示されている(資料 6)。これらはそれぞれ、上記グローバル人材育成会議の審議まとめに掲げられた要素 III、II および I と対応するものであり、やはり本学に設置する国際コミュニケーション学科の人材養成目的が、各企業の求めるグローバル人材像と合致することを客観的にも示すものとなっている。

過去の本学およびコミュニケーション学部の進路実績(資料7)からは、本学全体の2015~2019年度の就職率(希望者就職率)が93.6~96.7%と高水準で推移していることが読み取れるが、国際コミュニケーション学科の設置されるコミュニケーション学部においてはこの間の就職率が95.0~98.5%と、高水準の本学平均をさらに超えてこの期間推移してきたことが示されており、大学および学部の育成する人材が社会的需要をこれまでも強く満たしてきたことが実証されている。2015~2019年度のコミュニケーション学部の就職先企業分類からは、サービス業、小売業、卸売業、および情報通信放送業等が比率の高い業界となっており、コース別集計でも国際コミュニケーション学科の母体となるグローバルコース所属生(2015年度より開設)の進路先もおおむねこれらと一致する結果となっているほか、近年は運輸・倉庫業といった進路も目立っている(資料8)。これら実績を示している業界内の具体的な企業

としては、宿泊業や冠婚葬祭業、また航空・鉄道などいわゆるインバウンド/アウトバウンドに直接関連したものが少なからず含まれており、また同じく人材輩出実績の目立つ卸売業や小売業といった業界は BtoB、BtoC といったグローバル人材養成の期待の高い領域でもある。コミュニケーション学部がこれまで、国際コミュニケーション学科設置後にも引き続き期待される人材輩出の領域ですでに実績を上げてきたことを示す結果となっている。また、グローバル化状況においては、「ヒト」「モノ」「カネ」が国境を超えて高速移動することが人材育成の中では指摘されているが、加えて「情報」もそれに含まれるとされている(資料5、8ページ)。コミュニケーション学部が以前より人材を多く輩出してきた情報通信放送業はここに対応しており、人材養成目的3にあるように、国際コミュニケーション学科はそういった業界にもグローバル化対応スキルを兼ね備えた人材を輩出することをも目指すものである。

なお本学キャリアセンターにおいては 2017 年度に企業訪問を行い、「新卒採用における語学力・海外拠点への配置の可能性」についてヒアリングを行ってきた。「語学力を参考にしている」もしくは「海外拠点への配置の可能性がある」との回答を寄せた企業は 105 社に上ったが、特に語学力並びに海外展開について具体的に挙げられた声からは、英語能力および留学経験といった、国際コミュニケーション学部が教育の重点としている側面を明示的に表現したものとなっている(資料 9)。

以上のことから、コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科について、その人材育成・教育研究上の目的が社会的な人材需要動向を踏まえたものであり、また卒業生に対する採用需要およびその実績があると言える。

#### 【参考資料一覧】

- (資料1) 直近5年間の志願者・入学者等の状況
- (資料2) 定員充足の根拠となる調査
- (資料3) 首都圏の国際系学部・学科の過去5年の入試実績
- (資料4) 2020 (令和2) 年度 首都圏諸私大(昼間部) 学費/国際・グローバル系
- (資料5)内閣府・グローバル人材育成推進会議「グローバル人材育成戦略」(グローバル人材育成推進会議 審議まとめ)

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/global/1206011matome.pdf

(資料6)日本経済団体連合会「グローバル人材の育成・活用に向けて求められる取り組みに関するアンケート結果」

https://www.keidanren.or.jp/policy/2015/028.html (権利著作物につき添付省略・出典 URL 記載)

- (資料7) 本学およびコミュニケーション学部就職率推移(2015~2019年度)
- (資料8) コミュニケーション学部およびグローバルコース所属生就職業界実績(2015~2019 年度、 2018~2019 年度)
  - (資料9) 2017 年度キャリアセンター企業ヒアリングにおける人材期待の具体例

# 学生確保の見通し等を記載した書類(資料)

# 目次

(資料1)	直近5年間の志願者・入学者等の状況	p. 1
(資料2)	定員充足の根拠となる調査	p. 2
(資料3)	首都圏の国際系学部・学科の過去5年の入試実績	p. 39
(資料4)	首都圏諸私大(昼間部)学費/国際・グローバル系	p. 40
(資料5)	内閣府・グローバル人材育成推進会議「グローバル人材育成戦略」	p. 41
	(グローバル人材育成推進会議 審議まとめ)目次及び 1-11 頁	
	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/global/1206011matome.pdf	
(資料6)	日本経済団体連合会「グローバル人材の育成・活用に向けて求められる	
	取り組みに関するアンケート結果」	
	https://www.keidanren.or.jp/policy/2015/028.html	
	(権利著作物につき添付省略・出典 URL 記載)	
(資料7)	本学およびコミュニケーション学部就職率推移(2015~2019 年度)	p. 54
(資料8)	コミュニケーション学部およびグローバルコース所属生就職業界実績	p. 55
	(2015~2019年度、2018~2019年度)	
(資料9)	2017 年度キャリアセンター企業ヒアリングにおける人材期待の具体例	p. 56

【資料1 直近5年間の志願者・入学者等の状況】

			入学	定員					志原	[者数					受	検者数					合格	各者数					入	学者			入	、学者	(CDF	振分後	<u>(</u>		定	員超過	基率	
	経	経	⊐	現	*	合	経	経		現	*	合	経	経		現	*	合	経	経		現	+	合	経	経		現	*	合	経	経		現	合	経	経		現	合
	済	営	Ξ.	代	g	計	済	営	ξ.	代	ÿ	計	済	営	Ξ.	代	y	計	済	営	Ξ.	代	ÿ	計	済	営	Ξ.	代	ÿ	計	済	営	11	代	計	済	営	ξ	代	計
	学	学	=	法	7		学	学	_	法	7		学	学	=	法	ア		学	学	_	法	7		学	学	_	法	ア		学	学	_	法		学	学		法	
年度	部	部	ケ	学	ザ		部	部	_ ケ	学	ザ		部	部	_ ケ	学	ザ		部	部	ケ	学	ザ		部	部	_ ケ	学	サ		部	部	ケ	学		部	部	- ケ	学	
平 反			1	部	٦				1	部	4		l		1	部	1				1	部	4				1	部	4				Ī	部				1	部	
			シ		プ				シ		ブ		l		シ		ブ				シ		プ				シ		プ				シ					シ		
			3		п				]		п		l		3		п				3		п				3		п				3					3		
			学		9				学		9		l		学		9				学		9				学		9				学					学		
			部		4				部		4		l		部		4				部		4				部		4				部					部		
2016年度入試	455	485	200	250	$\square$	1390	4453	3 4624	1259	1946	$\overline{}$	12282	4316	4461	1208	1885	$\overline{\ \ }$	11870	1513	1362	493	706	$\overline{}$	4074	515	553	231	289	$\overline{}$	1588	515	553	231	289	1588	1.13	1.14	1.16	1.16	1.14
2017年度入試	530	565	225	250	(50)	1570	5566	4590	1929	1882	593	14560	5398	4448	1877	1824	577	14124	1289	1223	365	514	109	3500	568	566	222	293	50	1699	583	581	232	303	1699	1.10	1.03	1.03	1.21	1.08
2018年度入試	530	565	225	250	(50)	1570	5578	3 5517	1301	1767	652	14815	5412	5356	1262	1715	636	14381	1029	1058	321	430	98	2936	561	583	221	249	50	1664	576	598	231	259	1664	1.09	1.06	1.03	1.04	1.06
2019年度入試	530	565	225	250	(50)	1570	4891	1 4958	1403	1807	1304	14363	4719	4798	1366	1760	1257	13900	971	998	321	413	117	2820	500	533	219	243	43	1538	513	546	227	252	1538	0.97	0.97	1.01	1.01	0.98
2020年度入試	530	565	225	250	(50)	1570	4909	4857	1523	1623	478	13390	4711	4684	1450	1545	461	12851	1146	1132	407	527	113	3325	517	558	218	259	55	1607	533	575	229	270	1607	1.01	1.02	1.02	1.08	1.02

※キャリアデザインプログラムは、2017年度募集開始。

※キャリアデザインプログラムは、履修プログラムであり、募集人員は上記4学部の定員に含まれ、2年次から学部に所属する。

※入学者数は各年度の5月1日現在の学生数。

※定員超過率は、キャリアデザインプログラムの入学者を4学部に振り分けた後の入学者数で計算。

(入学定員50人の内訳は、経済学部15名、経営学部15名、コミュニケーション学部10名、現代法学部10名)

### 資料2 定員充足の根拠となる調査(平成29年調査調査票)

東京経済大学ではコミュニケーション学部に新しく「国際コミュニケーション学科(仮称)」を設置する計画を立てていま す。「国際コミュニケーション学科(仮称)」の概要は以下のとおりです。

国際コミュニケーション学科では、実践的英語力を鍛え、またグローバル時代特有の国境を越える「ヒト、モノ、情報」の 移動に関連する深い見識を培います。さらに全員が経験する海外での留学や就業体験によって、グローバル時代の日本およ び世界で英語を使いながら活躍する人材を育てます。

- Q15. 上記のような学科について、あなたは興味や関心がありますか。あてはまる番号1つに〇をつけてください
  - 1. 大いに興味・関心がある 2. 興味・関心がある 3. 少し興味・関心がある

- 4. 興味・関心はない
- 5. わからない

Q16. 国際コミュニケーション学科(仮称)には以下の 1~14 の特徴がありま	1	2	3	4	5
す。これらの特徴についてあなたは魅力を感じますか。それぞれについ	大いに	魅力を	少しは	魅力を	わから
て1~5の中から、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください	魅力を	感じる	魅力を	感じない	ない
	感じる		感じる		
1) 多様なビジネスの現場に対応した英語力の習得	1	2	3	4	5
2) 初年度から一貫した学科独自の少人数制英語教育	1	2	3	4	5
3)英語を用いた発信力を伸ばす多彩なワークショップ科目	1	2	3	4	5
4) TOEI C730 点の到達を目指す段階的学習計画の提供	1	2	3	4	5
5) レベルに応じて留学期間・地域を選択できる柔軟な海外体験科目	1	2	3	4	5
6)長期の「語学研修+ボランティア体験」を通じて英語を使いこなす	1	2	3	4	5
7) 中期の「海外就業+ボランティア体験」を通じて職業観を形成する	1	2	3	4	5
8) アジアを中心とした短期研修を通じてグローバル化を肌で感じる	1	2	3	4	5
9)国境を越えて展開するビジネスについて幅広い知識を獲得する	1	2	3	4	5
10) グローバル社会に共存する多様な異文化への共感力を養う	1	2	3	4	5
11) グローバル化する観光を社会・産業の両面から複眼的に理解する	1	2	3	4	5
12) グローバルな移動を支えるメディア・テクノロジーの理解を深める	1	2	3	4	5
13) 国境を越え消費されるメディアコンテンツの産業構造を理解する	1	2	3	4	5
14) 成績や目標に応じて提供される海外体験への経済的支援	1	2	3	4	5

- Q17. この国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思います か。あてはまる番号1つに〇をつけてください
- 1. 受験をしてみたい(勧めたい) 2. 受験先として検討したい 3. 受験先として検討するかもしれない
- 4. 受験先として考えない(勧めない) 5. わからない
- Q18. 指定校推薦枠があった場合、この国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、 受験を勧めたい)と思いますか。あてはまる番号1つに〇をつけてください
- 1. 受験をしてみたい(勧めたい) 2. 受験先として検討したい 3. 受験先として検討するかもしれない
- 4. 受験先として考えない(勧めない) 5. 既卒のため対象にならない 6. わからない
- Q19. AO入試があった場合、この国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験 を勧めたい)と思いますか。あてはまる番号1つに〇をつけてください
- 1. 受験をしてみたい(勧めたい) 2. 受験先として検討したい 3. 受験先として検討するかもしれない
- 4. 受験先として考えない(勧めない) 5. わからない
- Q20. 試験に合格しているとした場合、この国際コミュニケーション学科(仮称)に入学したい(保護者の方等の場合は、 入学を勧めたい)と思いますか。あてはまる番号1つに〇をつけてください

  - 1. 入学したい(勧めたい)
     2. 併願先の結果によっては入学したい
     3. 入学したくない(勧めない)
     4. わからない

6号館1階(受付の横)でアンケートを回収しています。 アンケートにご協力いただいた方へ、 本学オリジナルグッズをプレゼントしています!

ご協力ありがとうございました。

次に、「国際コミュニケーション学科(仮称)」についてお伺いします。同学科の概要は以下のとおりです。

#### 【国際コミュニケーション学科】

国際コミュニケーション学科では、実践的英語力を鍛え、またグローバル時代特有の国境を越える「ヒト、モノ、情報」の 移動に関連する深い見識を培います。さらに全員が経験する異文化体験(語学研修、海外インターンシップ等)によって、 グローバル時代の日本および世界で英語を使いながら活躍する人材を育てます。

- Q21.上記のような学科について、あなたは興味や関心がありますか。あてはまる番号1つに〇をつけてください
  - 1. 大いに興味・関心がある
- 2. 興味・関心がある
- 3. 少し興味・関心がある

- 4 興味 関心はない
- 5. わからない

Q 2 2. 国際コミュニケーション学科(仮称)には以下の1~7 の特徴があります。	1	2	3	4	5
これらの特徴についてあなたは魅力を感じますか。それぞれについて	大いに	魅力を	少しは	魅力を	わから
1~5の中から、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください	魅力を	感じる	魅力を	感じない	ない
	感じる		感じる		
1) 多様なビジネスの現場に対応した英語力の習得	1	2	3	4	5
2)レベルに応じて滞在期間・地域を選択できる柔軟な異文化体験科目	1	2	3	4	5
3) レベルに応じて滞在期間・地域を選択できる多様な海外インターンシップ	1	2	3	4	5
4) グローバル社会に共存する多様な異文化への共感力を養う	1	2	3	4	5
5) グローバル化する観光を社会・産業の両面から複眼的に理解する	1	2	3	4	5
6) ヒト、モノ、情報の移動を支えるメディアや技術への理解を深める	1	2	3	4	5
7) 成績や目標に応じて提供される海外体験への経済的支援	1	2	3	4	5

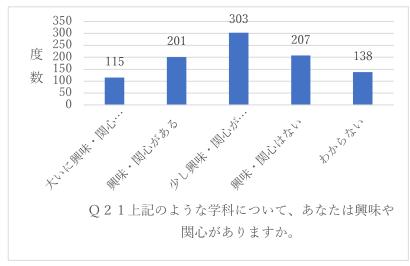
- Q23.この国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思い ますか。あてはまる番号1つに〇をつけてください
  - 1. 受験をしてみたい(勧めたい)
- 2. 受験先として検討したい 3. 受験先として検討するかもしれない
- 4. 受験先として考えない(勧めない) 5. わからない
- Q24. 指定校推薦枠があった場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、 受験を勧めたい)と思いますか。あてはまる番号1つに〇をつけてください
  - 1. 受験をしてみたい(勧めたい)
- 2. 受験先として検討したい 3. 受験先として検討するかもしれない
- 4. 受験先として考えない(勧めない) 5. 既卒のため対象にならない 6. わからない
- Q25. AO入試があった場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験 を勧めたい)と思いますか。あてはまる番号1つに〇をつけてください
  - 1. 受験をしてみたい(勧めたい)
- 2. 受験先として検討したい 3. 受験先として検討するかもしれない
- 4. 受験先として考えない(勧めない)
- 5. わからない
- Q26. 試験に合格しているとした場合、国際コミュニケーション学科(仮称)に入学したい(保護者の方等の場合は、 入学を勧めたい)と思いますか。あてはまる番号1つにOをつけてください
  - 1. 入学したい(勧めたい)
- 2. 併願先の結果によっては入学したい
- 3. 入学したくない(勧めない)
- 4 わからない

6号館1階(受付の横)でアンケートを回収しています。 アンケートにご協力いただいた方へ、 本学オリジナルグッズをプレゼントしています!

ご協力ありがとうございました。

Q 2 1 上記のような学科について、あなたは興味や関心がありますか。 (Q 2 1 上記のような学科について、あなたは興味や関心がありますか。)

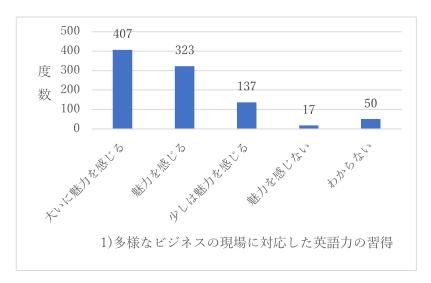
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに興味・関心がある	115	10.83	115	11.93	11.93
興味・関心がある	201	18.93	201	20.85	32.78
少し興味・関心がある	303	28.53	303	31.43	64.21
興味・関心はない	207	19.49	207	21.47	85.68
わからない	138	12.99	138	14.32	100.00
欠損値	98	9.23			
合計	1062	100	964	100	



1)多様なビジネスの現場に対応した英語力の習得(1)多様なビジネスの現場に対応した英語力の習得)

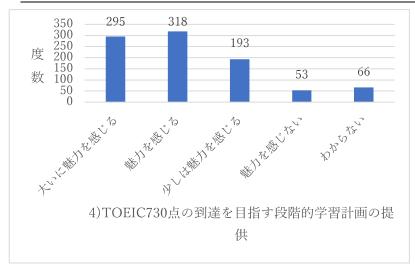
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	407	38.32	407	43.58	43.58
魅力を感じる	323	30.41	323	34.58	78.16
少しは魅力を感じる	137	12.90	137	14.67	92.83
魅力を感じない	17	1.60	17	1.82	94.65
わからない	50	4.71	50	5.35	100.00
欠損値	128	12.05			
合計	1062	100	934	100	

高校3年生アンケート調査(平成29年調査)結果



4)TOEIC730 点の到達を目指す段階的学習計画の提供(4)TOEIC730 点の到達を目指す 段階的学習計画の提供)

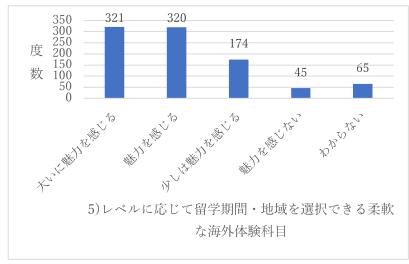
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	295	27.78	295	31.89	31.89
魅力を感じる	318	29.94	318	34.38	66.27
少しは魅力を感じる	193	18.17	193	20.86	87.14
魅力を感じない	53	4.99	53	5.73	92.86
わからない	66	6.21	66	7.14	100.00
欠損値	137	12.90			
合計	1062	100	925	100	



高校3年生アンケート調査(平成29年調査)結果

5)レベルに応じて留学期間・地域を選択できる柔軟な海外体験科目(5)レベルに応じて留学期間・地域を選択できる柔軟な海外体験科目)

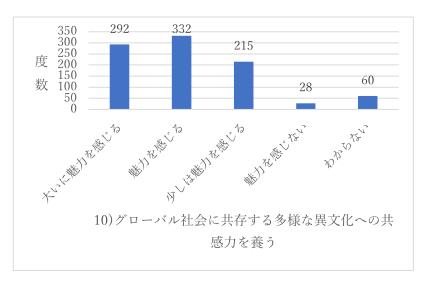
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	321	30.23	321	34.70	34.70
魅力を感じる	320	30.13	320	34.59	69.30
少しは魅力を感じる	174	16.38	174	18.81	88.11
魅力を感じない	45	4.24	45	4.86	92.97
わからない	65	6.12	65	7.03	100.00
欠損値	137	12.90			
合計	1062	100	925	100	



10)グローバル社会に共存する多様な異文化への共感力を養う(10)グローバル社会に共存する多様な異文化への共感力を養う)

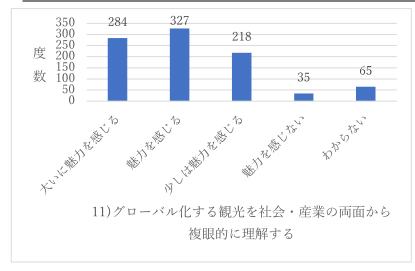
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	292	27.50	292	31.50	31.50
魅力を感じる	332	31.26	332	35.81	67.31
少しは魅力を感じる	215	20.24	215	23.19	90.51
魅力を感じない	28	2.64	28	3.02	93.53
わからない	60	5.65	60	6.47	100.00
欠損値	135	12.71			
合計	1062	100	927	100	

高校3年生アンケート調査(平成29年調査)結果



11)グローバル化する観光を社会・産業の両面から複眼的に理解する(11)グローバル化する観光を社会・産業の両面から複眼的に理解する)

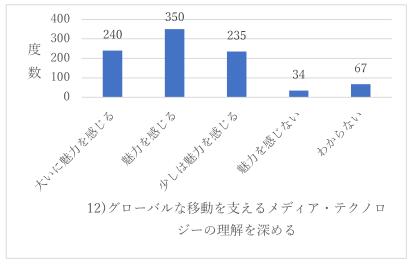
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	284	26.74	284	30.57	30.57
魅力を感じる	327	30.79	327	35.20	65.77
少しは魅力を感じる	218	20.53	218	23.47	89.24
魅力を感じない	35	3.30	35	3.77	93.00
わからない	65	6.12	65	7.00	100.00
欠損値	133	12.52			
合計	1062	100	929	100	



高校3年生アンケート調査(平成29年調査)結果

12)グローバルな移動を支えるメディア・テクノロジーの理解を深める(12)グローバルな移動を支えるメディア・テクノロジーの理解を深める)

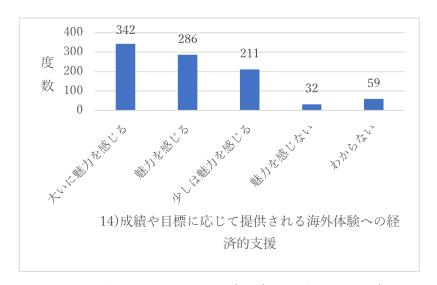
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	240	22.60	240	25.92	25.92
魅力を感じる	350	32.96	350	37.80	63.71
少しは魅力を感じる	235	22.13	235	25.38	89.09
魅力を感じない	34	3.20	34	3.67	92.76
わからない	67	6.31	67	7.24	100.00
欠損値	136	12.81			
合計	1062	100	926	100	



14)成績や目標に応じて提供される海外体験への経済的支援(14)成績や目標に応じて提供される海外体験への経済的支援)

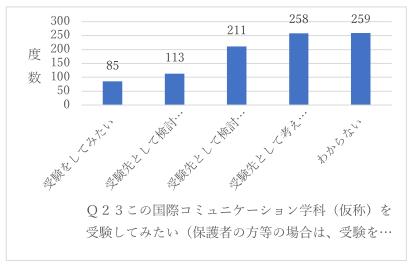
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	342	32.20	342	36.77	36.77
魅力を感じる	286	26.93	286	30.75	67.53
少しは魅力を感じる	211	19.87	211	22.69	90.22
魅力を感じない	32	3.01	32	3.44	93.66
わからない	59	5.56	59	6.34	100.00
欠損値	132	12.43			
合計	1062	100	930	100	

高校3年生アンケート調査(平成29年調査)結果



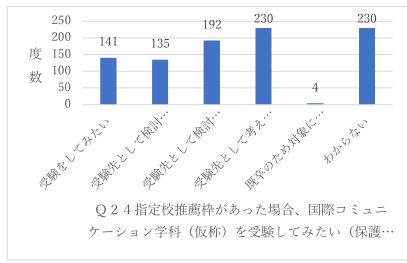
Q 2 3 この国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。(Q 2 3 この国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。)

		確率	有効度	有効確	 累積確
	度数	(%)	数	率	率
受験をしてみたい	85	8.00	85	9.18	9.18
受験先として検討したい	113	10.64	113	12.20	21.38
受験先として検討するかもしれない	211	19.87	211	22.79	44.17
受験先として考えない	258	24.29	258	27.86	72.03
わからない	259	24.39	259	27.97	100.00
欠損値	136	12.81			
合計	1062	100	926	100	



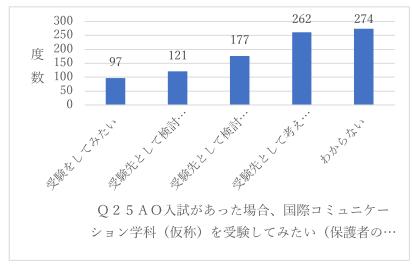
Q 2 4 指定校推薦枠があった場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい (保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。(Q 2 4 指定校推薦枠があった 場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を 勧めたい)と思いますか。)

山田佑	<del>                                      </del>	確率	有効度	有効確	累積確
出現値	度数	(%)	数	率	率
受験をしてみたい	141	13.28	141	15.13	15.13
受験先として検討したい	135	12.71	135	14.48	29.61
受験先として検討するかもしれない	192	18.08	192	20.60	50.21
受験先として考えない	230	21.66	230	24.68	74.89
既卒のため対象にならない	4	0.38	4	0.43	75.32
わからない	230	21.66	230	24.68	100.00
欠損値	130	12.24			
合計	1062	100	932	100	



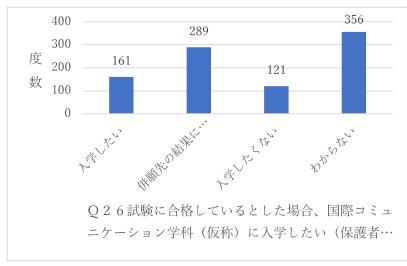
Q25AO入試があった場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。(Q25AO入試があった場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。)

		確率	有効度	有効確	累積確
	度数	(%)	数	率	率
受験をしてみたい	97	9.13	97	10.42	10.42
受験先として検討したい	121	11.39	121	13.00	23.42
受験先として検討するかもしれない	177	16.67	177	19.01	42.43
受験先として考えない	262	24.67	262	28.14	70.57
わからない	274	25.80	274	29.43	100.00
欠損値	131	12.34			
合計	1062	100	931	100	



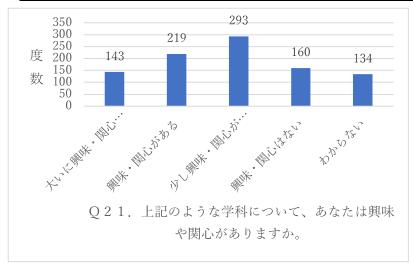
Q 2 6 試験に合格しているとした場合、国際コミュニケーション学科(仮称)に入学したい(保護者の方等の場合は、入学を勧めたい)と思いますか。(Q 2 6 試験に合格しているとした場合、国際コミュニケーション学科(仮称)に入学したい(保護者の方等の場合は、入学を勧めたい)と思いますか。)

山田佑	中米石	確率	有効度	有効確	累積確
出現値	度数	(%)	数	率	率
入学したい	161	15.16	161	17.37	17.37
併願先の結果によっては入学したい	289	27.21	289	31.18	48.54
入学したくない	121	11.39	121	13.05	61.60
わからない	356	33.52	356	38.40	100.00
欠損値	135	12.71			
合計	1062	100	927	100	



Q21.上記のような学科について、あなたは興味や関心がありますか。

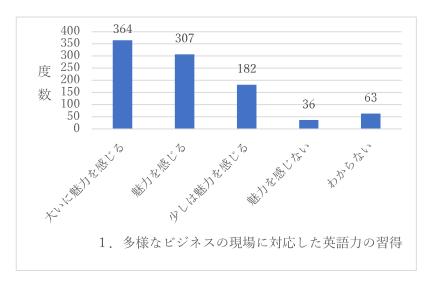
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに興味・関心がある	143	13.04	143	15.07	15.07
興味・関心がある	219	19.96	219	23.08	38.15
少し興味・関心がある	293	26.71	293	30.87	69.02
興味・関心はない	160	14.59	160	16.86	85.88
わからない	134	12.22	134	14.12	100.00
欠損値	148	13.49			
合計	1097	100	949	100	



# 1. 多様なビジネスの現場に対応した英語力の習得

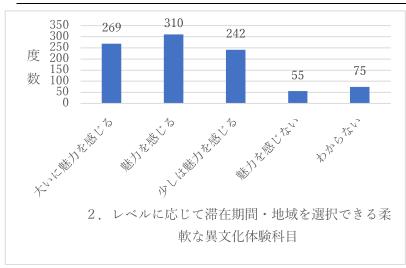
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	364	33.18	364	38.24	38.24
魅力を感じる	307	27.99	307	32.25	70.48
少しは魅力を感じる	182	16.59	182	19.12	89.60
魅力を感じない	36	3.28	36	3.78	93.38
わからない	63	5.74	63	6.62	100.00
欠損値	145	13.22			
合計	1097	100	952	100	

高校3年生アンケート調査(平成30年調査)結果



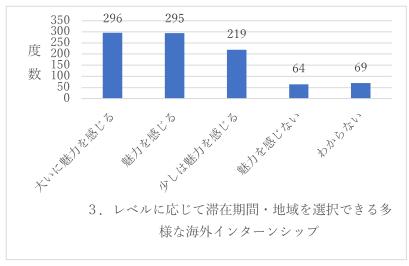
# 2. レベルに応じて滞在期間・地域を選択できる柔軟な異文化体験科目

出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	269	24.52	269	28.29	28.29
魅力を感じる	310	28.26	310	32.60	60.88
少しは魅力を感じる	242	22.06	242	25.45	86.33
魅力を感じない	55	5.01	55	5.78	92.11
わからない	75	6.84	75	7.89	100.00
欠損値	146	13.31			
合計	1097	100	951	100	



# 3. レベルに応じて滞在期間・地域を選択できる多様な海外インターンシップ

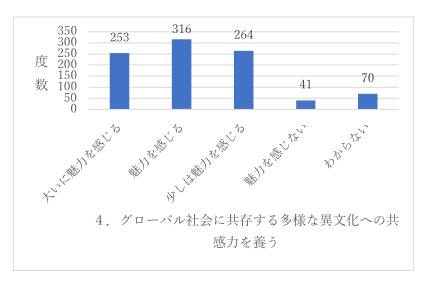
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	296	26.98	296	31.39	31.39
魅力を感じる	295	26.89	295	31.28	62.67
少しは魅力を感じる	219	19.96	219	23.22	85.90
魅力を感じない	64	5.83	64	6.79	92.68
わからない	69	6.29	69	7.32	100.00
欠損値	154	14.04			
合計	1097	100	943	100	



# 4. グローバル社会に共存する多様な異文化への共感力を養う

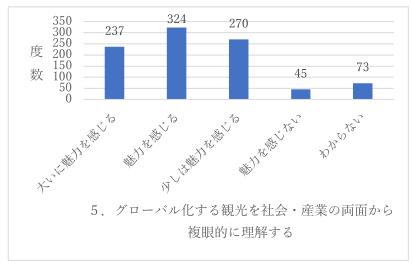
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	253	23.06	253	26.80	26.80
魅力を感じる	316	28.81	316	33.47	60.28
少しは魅力を感じる	264	24.07	264	27.97	88.24
魅力を感じない	41	3.74	41	4.34	92.58
わからない	70	6.38	70	7.42	100.00
欠損値	153	13.95			
合計	1097	100	944	100	

高校3年生アンケート調査(平成30年調査)結果



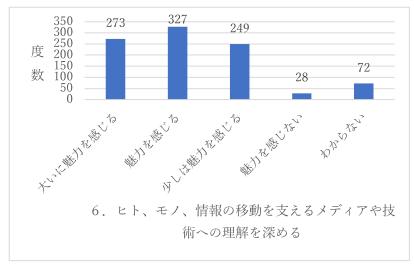
# 5. グローバル化する観光を社会・産業の両面から複眼的に理解する

出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	237	21.60	237	24.97	24.97
魅力を感じる	324	29.54	324	34.14	59.11
少しは魅力を感じる	270	24.61	270	28.45	87.57
魅力を感じない	45	4.10	45	4.74	92.31
わからない	73	6.65	73	7.69	100.00
欠損値	148	13.49			
合計	1097	100	949	100	



# 6. ヒト、モノ、情報の移動を支えるメディアや技術への理解を深める

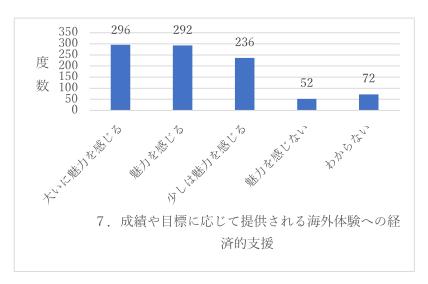
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	273	24.89	273	28.77	28.77
魅力を感じる	327	29.81	327	34.46	63.22
少しは魅力を感じる	249	22.70	249	26.24	89.46
魅力を感じない	28	2.55	28	2.95	92.41
わからない	72	6.56	72	7.59	100.00
欠損値	148	13.49			
合計	1097	100	949	100	



# 7. 成績や目標に応じて提供される海外体験への経済的支援

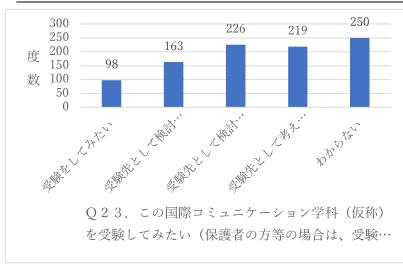
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	296	26.98	296	31.22	31.22
魅力を感じる	292	26.62	292	30.80	62.03
少しは魅力を感じる	236	21.51	236	24.89	86.92
魅力を感じない	52	4.74	52	5.49	92.41
わからない	72	6.56	72	7.59	100.00
欠損値	149	13.58			
合計	1097	100	948	100	

高校3年生アンケート調査(平成30年調査)結果



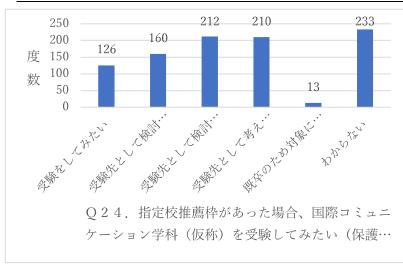
Q23. この国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、 受験を勧めたい)と思いますか。

JUTE <b>法</b>		確率	有効度	有効確	累積確
出現値	度数	(%)	数	率	率
受験をしてみたい	98	8.93	98	10.25	10.25
受験先として検討したい	163	14.86	163	17.05	27.30
受験先として検討するかもしれない	226	20.60	226	23.64	50.94
受験先として考えない	219	19.96	219	22.91	73.85
わからない	250	22.79	250	26.15	100.00
欠損値	141	12.85			
合計	1097	100	956	100	



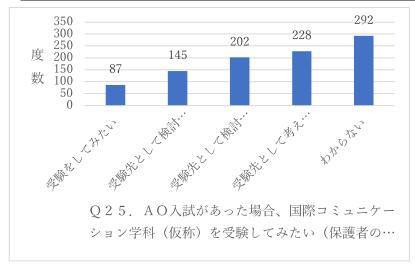
Q 2 4. 指定校推薦枠があった場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい (保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。

出現値	中米石	確率	有効度	有効確	累積確
	度数	(%)	数	率	率
受験をしてみたい	126	11.49	126	13.21	13.21
受験先として検討したい	160	14.59	160	16.77	29.98
受験先として検討するかもしれない	212	19.33	212	22.22	52.20
受験先として考えない	210	19.14	210	22.01	74.21
既卒のため対象にならない	13	1.19	13	1.36	75.58
わからない	233	21.24	233	24.42	100.00
欠損値	143	13.04			
合計	1097	100	954	100	



Q25. AO入試があった場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。

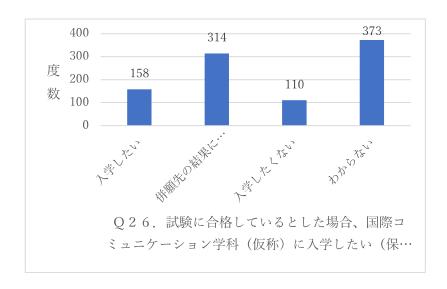
		確率	有効度	有効確	累積確
	度数	(%)	数	率	率
受験をしてみたい	87	7.93	87	9.12	9.12
受験先として検討したい	145	13.22	145	15.20	24.32
受験先として検討するかもしれない	202	18.41	202	21.17	45.49
受験先として考えない	228	20.78	228	23.90	69.39
わからない	292	26.62	292	30.61	100.00
欠損値	143	13.04			
合計	1097	100	954	100	



Q 2 6. 試験に合格しているとした場合、国際コミュニケーション学科(仮称)に入学したい (保護者の方等の場合は、入学を勧めたい) と思いますか。

出現値	度数	確率	有効度	有効確	累積確
	反奴	(%)	数	率	率
入学したい	158	14.40	158	16.54	16.54
併願先の結果によっては入学したい	314	28.62	314	32.88	49.42
入学したくない	110	10.03	110	11.52	60.94
わからない	373	34.00	373	39.06	100.00
欠損値	142	12.94			
合計	1097	100	955	100	

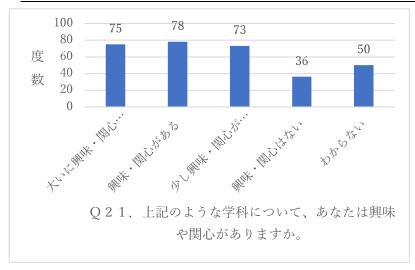
高校3年生アンケート調査(平成30年調査)結果



高校3年生アンケート調査(令和元年調査)結果

Q21.上記のような学科について、あなたは興味や関心がありますか。

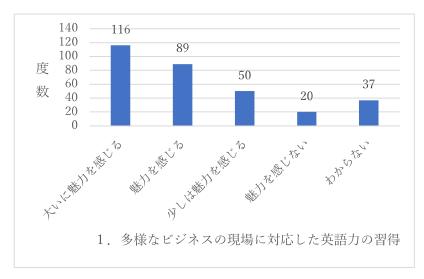
出現値	度 数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに興味・関心がある	75	24.04	75	24.04	24.04
興味・関心がある	78	25.00	78	25.00	49.04
少し興味・関心がある	73	23.40	73	23.40	72.44
興味・関心はない	36	11.54	36	11.54	83.97
わからない	50	16.03	50	16.03	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	312	100	312	100	



# 1. 多様なビジネスの現場に対応した英語力の習得

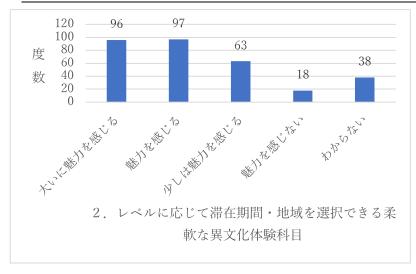
度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
116	37.18	116	37.18	37.18
89	28.53	89	28.53	65.71
50	16.03	50	16.03	81.73
20	6.41	20	6.41	88.14
37	11.86	37	11.86	100.00
0	0.00			
312	100	312	100	
	116 89 50 20 37	116 37.18 89 28.53 50 16.03 20 6.41 37 11.86 0 0.00	116       37.18       116         89       28.53       89         50       16.03       50         20       6.41       20         37       11.86       37         0       0.00	116       37.18       116       37.18         89       28.53       89       28.53         50       16.03       50       16.03         20       6.41       20       6.41         37       11.86       37       11.86         0       0.00

高校3年生アンケート調査(令和元年調査)結果



# 2. レベルに応じて滞在期間・地域を選択できる柔軟な異文化体験科目

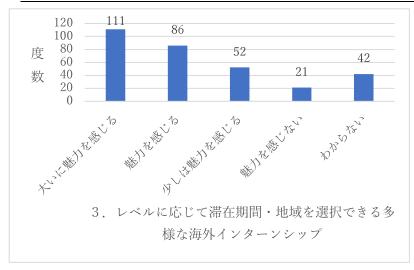
出現値	度 数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	96	30.77	96	30.77	30.77
魅力を感じる	97	31.09	97	31.09	61.86
少しは魅力を感じる	63	20.19	63	20.19	82.05
魅力を感じない	18	5.77	18	5.77	87.82
わからない	38	12.18	38	12.18	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	312	100	312	100	



# 高校3年生アンケート調査(令和元年調査)結果

# 3. レベルに応じて滞在期間・地域を選択できる多様な海外インターンシップ

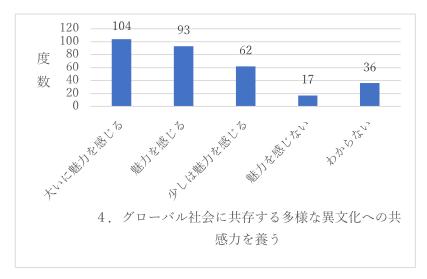
出現値	度 数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	111	35.58	111	35.58	35.58
魅力を感じる	86	27.56	86	27.56	63.14
少しは魅力を感じる	52	16.67	52	16.67	79.81
魅力を感じない	21	6.73	21	6.73	86.54
わからない	42	13.46	42	13.46	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	312	100	312	100	



# 4. グローバル社会に共存する多様な異文化への共感力を養う

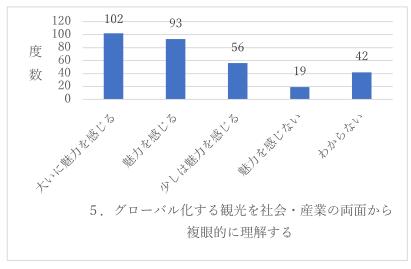
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	104	33.33	104	33.33	33.33
魅力を感じる	93	29.81	93	29.81	63.14
少しは魅力を感じる	62	19.87	62	19.87	83.01
魅力を感じない	17	5.45	17	5.45	88.46
わからない	36	11.54	36	11.54	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	312	100	312	100	

高校3年生アンケート調査(令和元年調査)結果



# 5. グローバル化する観光を社会・産業の両面から複眼的に理解する

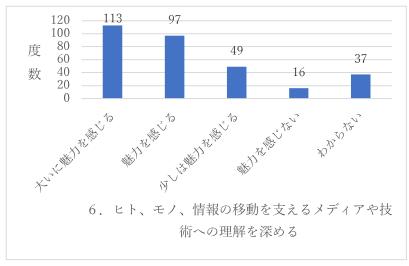
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	102	32.69	102	32.69	32.69
魅力を感じる	93	29.81	93	29.81	62.50
少しは魅力を感じる	56	17.95	56	17.95	80.45
魅力を感じない	19	6.09	19	6.09	86.54
わからない	42	13.46	42	13.46	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	312	100	312	100	



## 高校3年生アンケート調査(令和元年調査)結果

## 6. ヒト、モノ、情報の移動を支えるメディアや技術への理解を深める

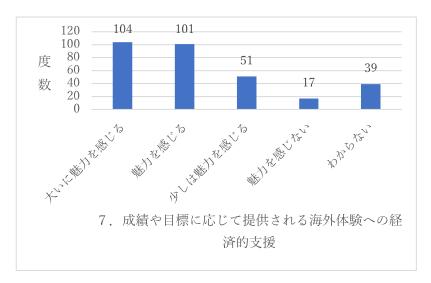
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	113	36.22	113	36.22	36.22
魅力を感じる	97	31.09	97	31.09	67.31
少しは魅力を感じる	49	15.71	49	15.71	83.01
魅力を感じない	16	5.13	16	5.13	88.14
わからない	37	11.86	37	11.86	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	312	100	312	100	



## 7. 成績や目標に応じて提供される海外体験への経済的支援

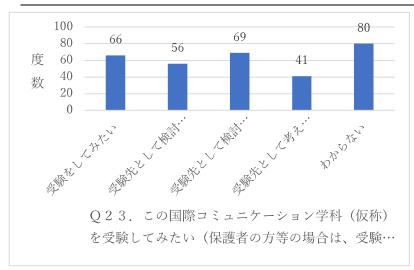
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	104	33.33	104	33.33	33.33
魅力を感じる	101	32.37	101	32.37	65.71
少しは魅力を感じる	51	16.35	51	16.35	82.05
魅力を感じない	17	5.45	17	5.45	87.50
わからない	39	12.50	39	12.50	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	312	100	312	100	

高校3年生アンケート調査(令和元年調査)結果



Q 2 3. この国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。

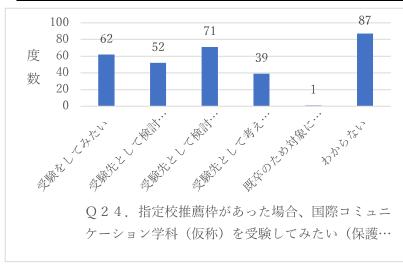
出現値		確率	有効度	有効確	累積確
		(%)	数	率	率
受験をしてみたい	66	21.15	66	21.15	21.15
受験先として検討したい	56	17.95	56	17.95	39.10
受験先として検討するかもしれない	69	22.12	69	22.12	61.22
受験先として考えない	41	13.14	41	13.14	74.36
わからない	80	25.64	80	25.64	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	312	100	312	100	



## 高校3年生アンケート調査(令和元年調査)結果

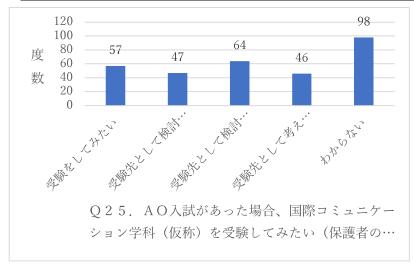
Q24. 指定校推薦枠があった場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい (保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。

出現値		確率	有効度	有効確	累積確
		(%)	数	率	率
受験をしてみたい	62	19.87	62	19.87	19.87
受験先として検討したい	52	16.67	52	16.67	36.54
受験先として検討するかもしれない	71	22.76	71	22.76	59.29
受験先として考えない	39	12.50	39	12.50	71.79
既卒のため対象にならない	1	0.32	1	0.32	72.12
わからない	87	27.88	87	27.88	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	312	100	312	100	



Q25. AO入試があった場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。

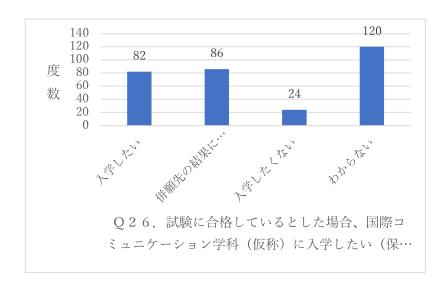
山理(店		確率	有効度	有効確	累積確
出現値	数	(%)	数	率	率
受験をしてみたい	57	18.27	57	18.27	18.27
受験先として検討したい	47	15.06	47	15.06	33.33
受験先として検討するかもしれない	64	20.51	64	20.51	53.85
受験先として考えない	46	14.74	46	14.74	68.59
わからない	98	31.41	98	31.41	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	312	100	312	100	



Q 2 6. 試験に合格しているとした場合、国際コミュニケーション学科(仮称)に入学したい (保護者の方等の場合は、入学を勧めたい) と思いますか。

山珀仿		確率	有効度	有効確	累積確
出現値	数	(%)	数	率	率
入学したい	82	26.28	82	26.28	26.28
併願先の結果によっては入学したい	86	27.56	86	27.56	53.85
入学したくない	24	7.69	24	7.69	61.54
わからない	120	38.46	120	38.46	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	312	100	312	100	

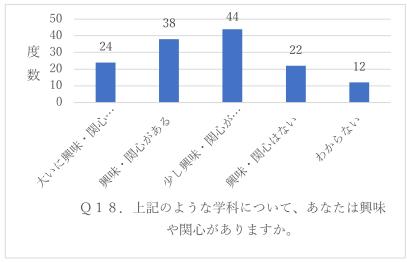
高校3年生アンケート調査(令和元年調査)結果



高校3年生アンケート調査(令和2年調査)結果

Q18.上記のような学科について、あなたは興味や関心がありますか。

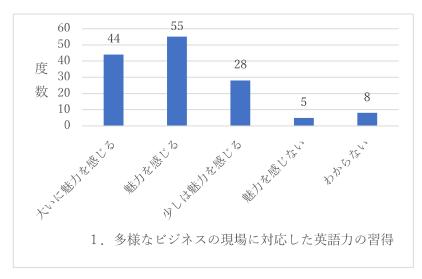
出現値	度 数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに興味・関心がある	24	17.14	24	17.14	17.14
興味・関心がある	38	27.14	38	27.14	44.29
少し興味・関心がある	44	31.43	44	31.43	75.71
興味・関心はない	22	15.71	22	15.71	91.43
わからない	12	8.57	12	8.57	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	140	100	140	100	



1. 多様なビジネスの現場に対応した英語力の習得

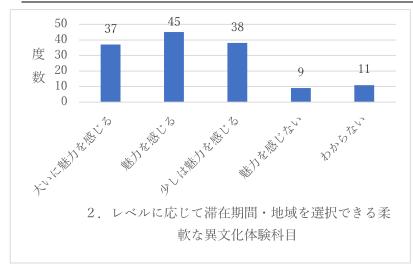
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	44	31.43	44	31.43	31.43
魅力を感じる	55	39.29	55	39.29	70.71
少しは魅力を感じる	28	20.00	28	20.00	90.71
魅力を感じない	5	3.57	5	3.57	94.29
わからない	8	5.71	8	5.71	100.00
欠損値	0	0.00			
<u>合計</u>	140	100	140	100	

高校3年生アンケート調査(令和2年調査)結果



## 2. レベルに応じて滞在期間・地域を選択できる柔軟な異文化体験科目

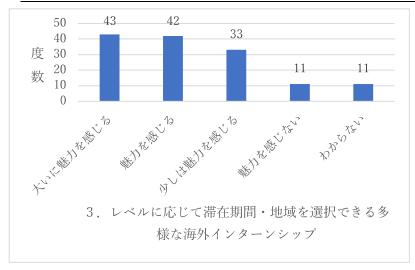
出現値	度 数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	37	26.43	37	26.43	26.43
魅力を感じる	45	32.14	45	32.14	58.57
少しは魅力を感じる	38	27.14	38	27.14	85.71
魅力を感じない	9	6.43	9	6.43	92.14
わからない	11	7.86	11	7.86	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	140	100	140	100	



## 高校3年生アンケート調査(令和2年調査)結果

## 3. レベルに応じて滞在期間・地域を選択できる多様な海外インターンシップ

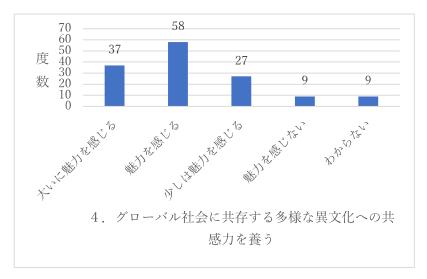
出現値	度 数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	43	30.71	43	30.71	30.71
魅力を感じる	42	30.00	42	30.00	60.71
少しは魅力を感じる	33	23.57	33	23.57	84.29
魅力を感じない	11	7.86	11	7.86	92.14
わからない	11	7.86	11	7.86	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	140	100	140	100	



## 4. グローバル社会に共存する多様な異文化への共感力を養う

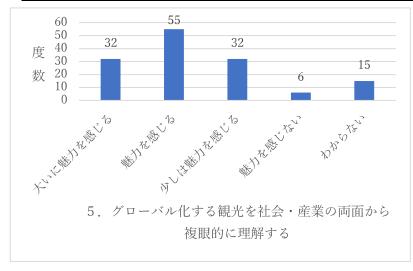
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	37	26.43	37	26.43	26.43
魅力を感じる	58	41.43	58	41.43	67.86
少しは魅力を感じる	27	19.29	27	19.29	87.14
魅力を感じない	9	6.43	9	6.43	93.57
わからない	9	6.43	9	6.43	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	140	100	140	100	

高校3年生アンケート調査(令和2年調査)結果



## 5. グローバル化する観光を社会・産業の両面から複眼的に理解する

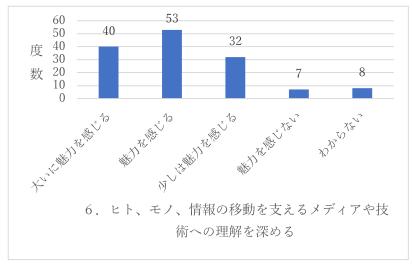
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	32	22.86	32	22.86	22.86
魅力を感じる	55	39.29	55	39.29	62.14
少しは魅力を感じる	32	22.86	32	22.86	85.00
魅力を感じない	6	4.29	6	4.29	89.29
わからない	15	10.71	15	10.71	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	140	100	140	100	



## 高校3年生アンケート調査(令和2年調査)結果

## 6. ヒト、モノ、情報の移動を支えるメディアや技術への理解を深める

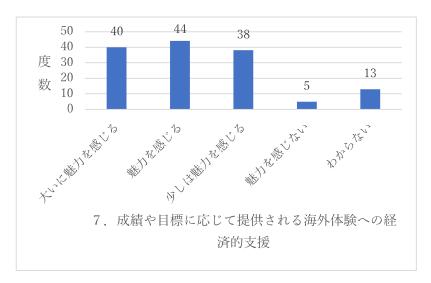
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	40	28.57	40	28.57	28.57
魅力を感じる	53	37.86	53	37.86	66.43
少しは魅力を感じる	32	22.86	32	22.86	89.29
魅力を感じない	7	5.00	7	5.00	94.29
わからない	8	5.71	8	5.71	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	140	100	140	100	



## 7. 成績や目標に応じて提供される海外体験への経済的支援

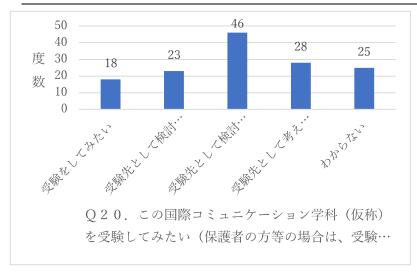
出現値	度数	確率(%)	有効度数	有効確率	累積確率
大いに魅力を感じる	40	28.57	40	28.57	28.57
魅力を感じる	44	31.43	44	31.43	60.00
少しは魅力を感じる	38	27.14	38	27.14	87.14
魅力を感じない	5	3.57	5	3.57	90.71
わからない	13	9.29	13	9.29	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	140	100	140	100	

高校3年生アンケート調査(令和2年調査)結果



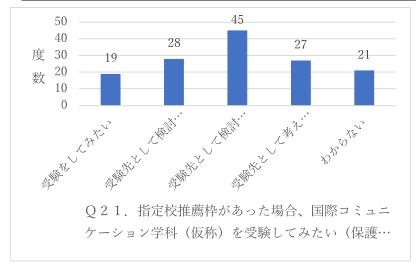
Q20. この国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。

出現値		確率	有効度	有効確	累積確
	数	(%)	数	率	率
受験をしてみたい	18	12.86	18	12.86	12.86
受験先として検討したい	23	16.43	23	16.43	29.29
受験先として検討するかもしれない	46	32.86	46	32.86	62.14
受験先として考えない	28	20.00	28	20.00	82.14
わからない	25	17.86	25	17.86	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	140	100	140	100	



Q21. 指定校推薦枠があった場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい (保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。

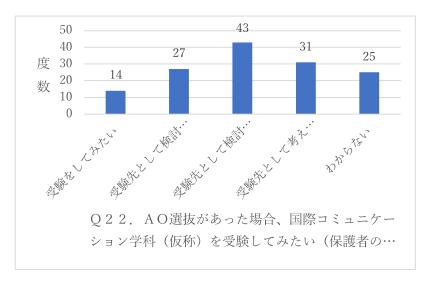
	度	確率	有効度	有効確	累積確
出現値	数	(%)	数	率	率
受験をしてみたい	19	13.57	19	13.57	13.57
受験先として検討したい	28	20.00	28	20.00	33.57
受験先として検討するかもしれない	45	32.14	45	32.14	65.71
受験先として考えない	27	19.29	27	19.29	85.00
わからない	21	15.00	21	15.00	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	140	100	140	100	



Q22. AO選抜があった場合、国際コミュニケーション学科(仮称)を受験してみたい(保護者の方等の場合は、受験を勧めたい)と思いますか。

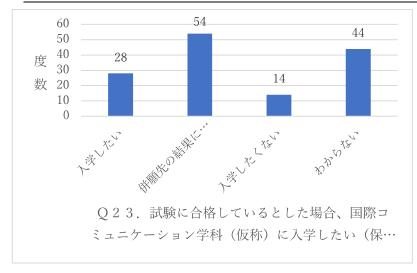
出現値	度	確率	有効度	有効確	累積確	
	数	(%)	数	率	率	
受験をしてみたい	14	10.00	14	10.00	10.00	
受験先として検討したい	27	19.29	27	19.29	29.29	
受験先として検討するかもしれない	43	30.71	43	30.71	60.00	
受験先として考えない	31	22.14	31	22.14	82.14	
わからない	25	17.86	25	17.86	100.00	
欠損値	0	0.00				
合計	140	100	140	100		

高校3年生アンケート調査(令和2年調査)結果



Q 2 3. 試験に合格しているとした場合、国際コミュニケーション学科(仮称)に入学したい (保護者の方等の場合は、入学を勧めたい) と思いますか。

 出現値	度	確率	有効度	有効確	累積確
	数	(%)	数	率	率
入学したい	28	20.00	28	20.00	20.00
併願先の結果によっては入学したい	54	38.57	54	38.57	58.57
入学したくない	14	10.00	14	10.00	68.57
わからない	44	31.43	44	31.43	100.00
欠損値	0	0.00			
合計	140	100	140	100	



【資料3 首都圏の国際系学部・学科の過去5年の入試実績】

				2	016年月	变			2	2017年月	变			2	018年度	Ę			20	)19年月	变			2	020年月	Ę		備者
大学	学部	学科	志願	受験	合格	志願	実質	志願	受験	合格	志願	実質	志願	受験	合格	志願	実質	志願	受験	合格	志願	実質	志願	受験	合格	志願	実質	
			者数	者数	者数	倍率	倍率	者数	者数	者数	倍率	倍率	者数	者数	者数	倍率	倍率	者数	者数	者数	倍率	倍率	者数	者数	者数	倍率	倍率	(入試方式)
青山学院大学	国際政治経済学部	国際コミュニケーション学科	660	551	75	8.8	7.4	726	609	56	13.0	10.9	635	543	43	14.8	12.6	583	486	61	9.6	8.0	570	467	60	9.5	7.8	個別A方式
亜細亜大学	国際関係学部	国際関係学科	494	482	157	3.2	3.1	451	436	110	4.1	4.0	361	354	75	4.8	4.7	399	386	71	5.6	5.4	373	356	81	4.6	4.4	一般学科別
		多文化コミュニケーション学科	396	378	85	4.7	4.5	342	323	65	5.3	5.0	416	403	89	4.7	4.5	424	411	79	5.4	5.2	417	403	93	4.5	4.3	一般学科別
学習院大学	国際社会科学部	国際社会科学科	2183	2077	502	4.4	4.1	2412	2311	349	6.9	6.6	1879	1768	272	6.9	6.5	1726	1618	247	7.0	6.6	1314	1196	229	5.7	5.2	(~2017)一般 (2018~)コア
駒澤大学	グローバル・メディア・スタディーズ学部	グローバル・メディア学科	693	673	164	4.2	4.1	621	605	143	4.3	4.2	656	645	114	5.8	5.7	902	876	142	6.4	6.2	428	418	146	2.9	2.9	2月T方式
大東文化大学	国際関係学部	国際関係学科	177	167	84	2.1	2.0	157	147	55	2.9	2.7	227	215	60	3.8	3.6	196	175	60	3.3	2.9	237	217	96	2.5	2.3	一般入試
東洋大学	国際学部(2016国際地域学部)	国際地域学科	442	-	63	7.0	-	389	-	52	7.5	-	352	-	38	9.3		358	-	58	6.2	-	308	-	63	4.9	-	前期3教科均等①
		グローバル・イノベーション学科				$\overline{}$		327	-	28	11.7	-	205	-	20	10.3	1	373	-	39	9.6	-	295	-	45	6.6	-	(~2017)前期3教科英重提①(2018~)前期3教科均等①
	国際観光学部(2016国際地域学部)	国際観光学科	849	-	86	9.9	-	1090	-	107	10.2	-	687	-	65	10.6		817	-	55	14.9	-	614	-	89	6.9	-	前期3教科均等①
法政大学	国際文化学部	国際文化学科	2258	1990	371	6.1	5.4	2494	2240	321	7.8	7.0	2370	2114	286	8.3	7.4	2598	2328	334	7.8	7.0	2447	2135	350	7.0	6.1	A方式
明治大学	国際日本学部	国際日本学科	3259	3174	746	4.4	4.3	3381	3282	660	5.1	5.0	3773	3667	712	5.3	5.2	3002	2880	731	4.1	3.9	2737	2592	595	4.6	4.4	一般入試
明治学院	国際学部	国際学科	716	695	198	3.6	3.5	822	789	190	4.3	4.2	603	580	157	3.8	3.7	727	700	176	4.1	4.0	655	638	224	2.9	2.9	(~2017)A日程(2018~)A方式日程3教科
		国際キャリア学科	418	411	182	2.3	2.3	331	317	107	3.1	3.0	301	296	81	3.7	3.7	302	293	66	4.6	4.4	193	184	69	2.8	2.7	(~2017)A日程(2018~)A方式日程3教科
立教大学	異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	1639	1607	121	13.6	13.3	1594	1558	111	14.4	14.0	1310	1281	120	10.9	10.7	1226	1189	90	13.6	13.2	950	917	164	5.8	5.6	個別日程
	観光学部	観光学科	1434	1377	211	6.8	6.5	1568	1511	183	8.6	8.3	1851	1784	216	8.6	8.3	1719	1647	204	8.4	8.1	1421	1357	236	6.0	5.8	個別日程

#### 【出典】

2016年度~2019年度:各年の旺文社蛍雪時代11月臨時増刊掲載の全国大学入試結果より

2020年度:各大学Webサイト掲載の入試結果情報より

	大学名	学部名	学科名	入学金	授業料	施設設備費 維持費	実験実習費	合 計
- 1	法政大学	国際文化学部	国際文化学科	240,000	1,063,000	264,000	38,000	1,605,000
2	早稲田大学	国際教養学部	国際教養学科	200,000	1,390,000	0	0	1,590,000
3	順天堂大学	国際教養学部	国際教養学科	300,000	1,000,000	250,000	0	1,550,000
4	中央大学	国際情報学部	国際情報学科	240,000	1,016,800	233,200	50,000	1,540,000
5	上智大学	国際教養学部	国際教養学科	200,000	998,000	290,000	0	1,488,000
6	明治大学	国際日本学部	国際日本学科	200,000	1,053,000	208,000	10,000	1,471,000
7	東京農業大学	国際食料情報学部	国際農業開発学科	270,000	760,000	255,600	180,000	1,465,600
8	学習院大学	国際社会科学部	国際社会科学科	200,000	965,000	270,000	0	1,435,000
9	多摩大学	グローバルスタディーズ学部	グローバルスタディーズ学科	200,000	900,000	330,000	0	1,430,000
10	昭和女子大学	国際学部	英語コミュニケーション学科	200,000	825,600	340,000	40,000	1,405,600
11	東京国際大学	国際関係学部	国際関係学科	250,000	850,000	300,000	0	1,400,000
12	東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	300.000	900.000	200.000	0	1,400,000
_	千葉商科大学	国際教養学部	国際教養学科	185.000	820.000	390.000	0	1.395.000
	青山学院大学	国際政治経済学部	国際コミュニケーション学科	200,000	923,000	215,000	45.000	1,383,000
_	東洋英和女学院大学	国際社会学部	国際コミュニケーション学科	300,000	670,000	400,000	0	1,370,000
_	桜美林大学	グローバル・コミュニケーション学群	グローバル・コミュニケーション学類	100,000	914,000	350,000	0	1,364,000
_	関東学院大学	国際文化学部	比較文化学科	290,000	770,000	276,660	15,000	1,351,660
_	共栄大学	国際経営学部	国際経営学科	300,000	750,000	300,000	0	1,350,000
	日本大学	国際関係学部	国際総合政策学科	260,000	890,000	200,000	0	1,350,000
_	学習院女子大学	国際文化交流学部	国際コミュニケーション学科	200,000	920.000	220,000	0	1,340,000
	創価大学	国際教養学部	国際教養学科	200,000	840.000	300.000	0	1,340,000
_	立教大学	異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	200,000	1,128,000	000,000	10,000	1,338,000
_	拓殖大学	国際学部	国際学科	200,000	907.000	230,000	0,000	1,337,000
	専修大学	国際コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	200,000	850,000	284,000	0	1,334,000
_	亜細亜大学	国際関係学部	多文化コミュニケーション学科	230,000	800,000	260,000	30,000	1,320,000
	明治学院大学	国際学部	国際学科	200,000	876.000	241,500	30,000	1,317,500
	文教大学	国際学部	国際理解学科	280,000	762,000	270,000	0	1,312,000
_	獨協大学	国際教養学部	言語文化学科	270,000	760,000	280,000	0	1,312,000
	<b>樹屋大学</b>	国際教養子部	こども教育学科	250,000	760,000	240,000	60,000	1,310,000
_	城変ハ子 城西国際大学	国際人文学部	国際文化学科	300,000	770,000	240,000	00,000	1,310,000
_	城四国際人子 フェリス女学院大学	国際交流学部	国際文化学科	200,000	825,000	285,000	0	1,310,000
_	東海大学	国際文派字部		200,000	700.000	250,000	157.000	1,310,000
	来 海 ヘ 子 二 松 学 舎 大 学	国際文化子部 国際政治経済学部	国際コミュニケーション学科国際経営学科	250,000	796.000	250,000	157,000	1,307,000
_	一松子吉入子 <b>本学</b>				,		_	
		コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	150,000	874,000	270,000	0	1,294,000
	共立女子大学	国際第一	国際学科	150,000	720,000	390,000	0	1,260,000
_	東洋大学	国際観光学部	国際観光学科	250,000	780,000	220,000	0	1,250,000
	神奈川大学	国際日本学部	国際文化交流学科	200,000	790,000	260,000	0	1,250,000
_	駒澤大学	グローバル・メディア・スタディーズ学部	グローバル・メディア学科	200,000	790,000	241,000	0	1,231,000
_	開智国際大学	国際教養学部	国際教養学科	250,000	900,000	80,000	0	1,230,000
	大東文化大学	国際関係学部	国際文化学科	210,000	733,000	271,000	0	1,214,000
	武蔵野大学	グローバル学部	日本語コミュニケーション学科	180,000	770,000	250,000	0	1,200,000
_	武蔵野学院大学	国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	200,000	700,000	210,000	0	1,110,000
43	東京成徳大学	国際学部	国際学科	300,000	500,000	112,500	0	912,500
		平 均		225, 698	853, 707	249, 476	14, 767	1, 343, 648

出典:日本私立大学団体連合会「学生納付金等調査(令和2年度入学生)」より本学作成

# 資料5

# グローバル人材育成戦略

(グローバル人材育成推進会議 審議まとめ)

2012年(平成24年)6月4日

グローバル人材育成推進会議

## 目 次

はじめに
<ol> <li>基本的な問題意識について 3</li> <li>海外留学の動向と「内向き志向」</li> <li>我が国の経済的な発展と国際社会との関わり</li> </ol>
<ul><li>2. グローバル人材の育成及び活用について 8</li><li>(1) 「グローバル人材」とは</li><li>(2) グローバル人材の育成及び活用に向けた諸課題</li></ul>
3. 英語教育の強化、高校留学の促進等の初等中等教育の諸課題について …12 (1) 実践的な英語教育の強化(英語・コミュニケーション能力、異文化体験等) (2) 高校留学等の促進 (3) 教員の資質・能力の向上
4. 大学入試の改善等の大学教育の諸課題について
5. 採用活動の改善等の経済社会の諸課題について 20 (1) 採用活動等の教育と雇用の接続の改善・充実 (7) 海外へ出たことによる不利益の是正 (イ) 海外へ出やすい環境の整備 (2) 採用後のグローバル人材育成・活用の促進
<ul> <li>6. その他関連する重要課題について24</li> <li>(1) グローバル化に対応した職業教育・職業訓練等の充実</li> <li>(2) 国際的なボランティア活動の促進</li> <li>(3) 日本語・日本文化の世界的な普及・展開</li> <li>(4) グローバル人材の育成に向けた環境整備等</li> </ul>
おわりに28

### はじめに

- 2004 年(平成 16 年)以降、海外へ留学する日本人学生の数は減少に転じている。また、特に米国の大学に在籍する日本人学生数は大きく落ち込んでいる。さらに、新入社員に対するアンケートでは、海外での勤務を希望しない者が増えているとの報告もある。
- 一方、経済成長の著しい中国やインドは海外留学生数を大きく増加させている。注目すべきは、我が国は、人口規模が我が国の約半分である韓国にも海外留学者の実数で劣り、しかもその差が拡大傾向にあることである。
- 人口減少と超高齢化が進む中で、東日本大震災という深刻な危機を経験した我が国経済が本格的な成長軌道へと再浮上するためには、創造的で活力のある若い世代の育成が急務である。とりわけ、グローバル化が加速する 21 世紀の世界経済の中にあっては、豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化体験を身につけ、国際的に活躍できる「グローバル人材」を我が国で継続的に育てていかなければならない。
- こうした問題意識の下に、我が国の成長の牽引力となるべき「グローバル人材」の育成と、そのような人材が社会で十分に活用される仕組みの構築を目指して、2011 年 (平成 23 年)5 月、新成長戦略実現会議の下に関係閣僚からなる「グローバル人材育成推進会議」が設置され、またその下に関係の副大臣・政務官等からなる「グローバル人材育成推進会議幹事会」が設置され、同年 6 月には「中間まとめ」を取りまとめた。さらに、国家戦略会議の発足後も「グローバル人材育成推進会議」及び「同幹事会」は引き続き設置することとされた。
- あらためて言うまでもなく、国内外のグローバル化の流れはその速度を不可逆的に増している。グローバル人材に対する経済的社会的な需要・期待は、本推進会議設置後のこの1年程度のわずかな間に限ってみても、我が国社会のトップ・リーダーとしての期待から、国境を越えた市場の拡大や海外での現地生産の強化等に対応した厚みのある中核的・専門的人材層の需要へと急拡大する様相を呈しており、現在もなおその過渡期と見ることができる。

○ こうした変転やまない先行き不透明な時代の中にあって政策を打ち出す 上で重要と考えられるのは、

第一に、関係者がまず具体的なアクションを起こす必要があること、

第二に、常に問題意識等を社会全体へ情報発信する姿勢が不可欠であること、

第三に、これからの時代の人材育成については、教育と雇用の構造的なミスマッチを恒常的に埋める努力が求められること、

第四に、特にグローバル人材の育成は、常に海外との関わりの中で国際的 視点から枠組み(いわゆる「内なる国際化」を含めて)を構想する必要がある こと

等である。

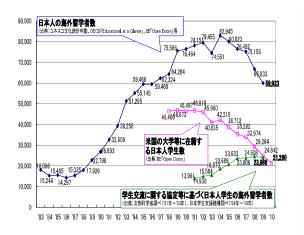
○ 本戦略は、2012 年(平成 24 年)の年央に予定される国家戦略会議の「日本 再生戦略」の取りまとめを前に、計 4 回の「グローバル人材育成推進会議」 及び計 7 回の「同幹事会」での検討経過を踏まえて、基本的な問題意識や諸 課題への対応方策等を取りまとめたものである。

なお、☆は本文の記述に関連する施策等の提言事項、【 】内はその関係各省を表す。

## 1. 基本的な問題意識について

- (1) 海外留学の動向と「内向き志向」
  - グローバル化する世界の中にあって、我が国では、「失われた 20 年」と言われるなど、経済のみならず社会の各分野で国内に停滞感が充満している。
  - また、2004 年(平成 16 年)以降、海外へ留学する日本人学生の数は減少に転じ、特に米国の大学に在籍する日本人学生数が大きく落ち込んでいる。これは、米国以外の大学へ留学する者が増加してきたことをも考え合わせると、留学先の多様化と見ることもできる。また、若年人口全体が急激な減少傾向にあることの影響も大きい。しかし、同世代に占める留学者の比率が、昨今の経済情勢の影響もあって減少傾向に転じていることは大きな懸念材料と言えよう。また、日本人学生の海外留学者数の男女比はおよそ1対2との調査結果があり、男子学生の不振が際立っている。さらに、新入社員に対するアンケートでは、海外での勤務を希望する者としない者とで二極化が進んでいるとの報告もある。
  - 一方、諸外国の中で、経済成長の著しい中国やインドは海外留学生数を 大きく増加させている。人口規模が我が国の約半分である韓国も海外留学 者の実数で我が国を上回り、しかもその差が拡大傾向にあることは注目し なければならない。

図1:日本人の海外留学者数



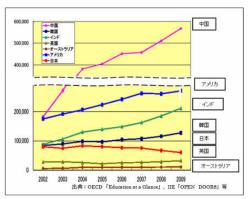
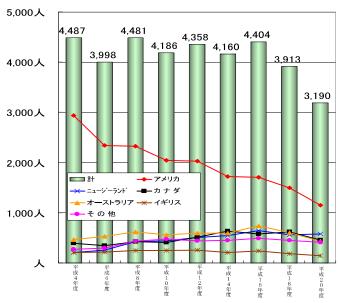


図2:国(地域)別学生の海外派遣者数の推移

図3:高校生の留学者数(3ヶ月以上)行き先別生徒数推移



出典:文部科学省「平成20年度高等学校等における国際交流等の状況について」

○ こうした我が国の状況に関し、一部には、若い世代の「内向き志向」を 指摘する向きもあるが、この問題は、(若い世代の)意識の問題に安易に還元 することなく、意識の背景となる社会システム上の構造的な要因を克服し ていくことが重要と考える。

図4:日本人学生の留学に関する主な障害

			件数	比率 (87大学中)
①就職		帰国後、留年する可能性が大きい	59	67.8%
<b>②経済</b>		経済的問題で断念する場合が多い	42	48.3%
	ſ	帰国後の単位認定が困難	32	36.8%
@ / <del>_</del> # # #		助言教職員の不足	23	26.4%
③体制	<b>—</b> )	大学全体としてのバックアップ体制が不備	21	24.1%
		先方の受け入れ大学の情報が少ない	9	10.3%
		両親、家族の理解が得られない	7	8.0%
		指導教員の理解が得られない	3	3.4%
		その他	27	31.0%

※国立大学協会国際交流委員会留学制度の改善に関するワーキング・グルーブが、各国立大学に対して留学制度の改善に関するアンケートを実施。 ※本調査項目には87大学が回答。 ※平成19年1月

○ 従来、高校関係者は大学入試を、大学関係者は企業採用を過度に意識する一方で、企業側は国内の教育に必ずしも十分な関心を向けないまま、限られた「優秀」な人材の獲得のため先を争うかのように採用に走るといった風潮の中で、高校教育の困難化・大学教育の空洞化と採用の早期化・長期化が同時進行するという悪循環を招いてきたことは否めない。

- さらに、若年人口が減少する一方で大学等進学率が一貫して上昇する中、 保護者が、進学率のまだそれほど高くなかった 20~30 年前の自らの経験に 基づくイメージで、経済・雇用情勢が全く異なる現在の若い世代を「良い」 学校→「良い」大学→「一流」企業→幸せな人生、という単線型の人生設 計に駆り立てる傾向も根強くあったのではないか。「就職氷河期」「超氷河 期」といった表現が繰り返し報じられる中で、この傾向が一層助長されて しまった面も見逃せない。
- 今後は、高校関係者、大学関係者、企業関係者、政府・行政関係者、保護者等が一斉に具体的な行動を起こすことで、若い世代を後押しする好循環を我が国社会全体で生み出していくことが不可欠である。

図5:新入社員の海外勤務希望

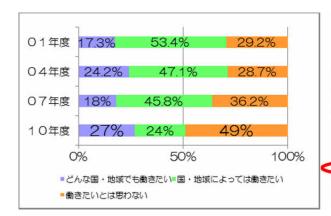


図6:高等教育への公財政支出の対GDP比

	日本	アメリカ
公費負担	0.5%	1.0%
私費負担	1.0%	1.7%
うち家計	0.76%	1.12%
民間	0.24%	0.58%
合計	1.5%	2.7%

出典)「Education at a Glance」

出典)学校法人産業能率大学「第4回 新入社員のグローバル意識調査」(2010年7月)

- (2) 我が国の経済的な発展と国際社会との関わり
  - 過去の歴史において、我が国は、時代ごとの危機的状況を積極的な人材 派遣など海外との相互交流・接触の中で打開し克服してきた経験を持つ。
  - しかし、1980 年代頃までに「(経済的)豊かさ」を達成した結果、フロンティアを喪失することとなり、今日では、技術の先進性や一定規模の国内マーケットの存在などが却って「日本のガラパゴス化」を招きかねないとの懸念すら指摘される状況にある。
  - 現状のままでは、中長期的な観点で経済成長の原動力となるべき有為な人材が枯渇して、我が国は本格的な再生のきっかけを失い、BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)や VISTA(ベトナム、インドネシア、南アフリカ、トルコ、アルゼンチン)といった新興国の台頭等、変化の激しいグローバル化時代の世界経済の中で、緩やかに後退していくのではないかとの危機感を抱かざるを得ない。
  - 産業・経済の急速な高度化・グローバル化の中で、我が国がこのまま極 東の小国へと転落してしまう道を回避するためには、あらためて海外に目 を向けて「世界の中の日本」を明確に意識するとともに、自らのアイデン ティティーを見つめ直すことが不可欠なのではないか。
  - そしてこのことは、新たな時代の我が国の成長の牽引力となるのがもはや一握りのトップ・エリートのみであることを意味しない。様々な分野で中核的な役割を果たす厚みのある中間層を、言わば「21世紀型市民」として形成する上でも、今後は、国際社会との関わりを抜きにして語ることはできない。
  - その上で、我が国は、「産業・経済上の活力の持続」と「社会生活面での幸福・充足感や(精神的)豊かさ」とが両立した、経済・社会の調和のとれた発展のモデルとなることを目指すべきである。そのことが、ひいては、言わば「課題解決先進国」として、我が国が世界からの信頼と尊敬を得て存在感のある国となることにつながるものと考える。

○ そのために、今こそ、社会全体のシステムをグローバル化時代に相応しいものに構築し直し、個々人の人生設計を柔軟かつ多様に支援する複線型の社会システムへと変革しなければならない。そしてその第一歩であり眼目とも言えるのが、国家戦略の一環としての「グローバル人材」の育成にほかならない。

- 2. グローバル人材の育成及び活用について
  - (1) 「グローバル人材」とは
  - 「グローバル化」とは、今日、様々な場面で多義的に用いられるが、総じて、(主に前世紀末以降の)情報通信・交通手段等の飛躍的な技術革新を背景として、政治・経済・社会等あらゆる分野で「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」が国境を越えて高速移動し、金融や物流の市場のみならず人口・環境・エネルギー・公衆衛生等の諸課題への対応に至るまで、全地球的規模で捉えることが不可欠となった時代状況を指すものと理解される。
  - 我が国がこれからのグローバル化した世界の経済・社会の中にあって育成・活用していくべき「グローバル人材」の概念を整理すると、概ね、以下のような要素が含まれるものと考えられる。

要素 I: 語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ:主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任

感・使命感

要素Ⅲ:異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

- このほか、「グローバル人材」に限らずこれからの社会の中核を支える人材に共通して求められる資質としては、幅広い教養と深い専門性、課題発見・解決能力、チームワークと(異質な者の集団をまとめる)リーダーシップ、公共性・倫理観、メディア・リテラシー等を挙げることができる。
- グローバル人材の概念に包含される要素の幅広さを考えると、本来、その資質・能力は単一の尺度では測り難い。しかし、測定が比較的に容易な要素 I (「道具」としての語学力・コミュニケーション能力)を基軸として(他の要素等の「内実」もこれに伴うものを期待しつつ)、グローバル人材の能力水準の目安を(初歩から上級まで)段階別に示すと、例えば、以下のようなものが考えられる。
  - ① 海外旅行会話レベル
  - ② 日常生活会話レベル
  - ③ 業務上の文書・会話レベル
  - ④ 二者間折衝・交渉レベル
  - ⑤ 多数者間折衝・交渉レベル

- 我が国では、①②③レベルのグローバル人材の裾野の拡大については着 実に進捗しつつあるものと考えられる。今後は更に、④⑤レベルの人材が 継続的に育成され、一定数の「人材層」として確保されることが、国際社 会における今後の我が国の経済・社会の発展にとって極めて重要となる。
- この点は、例えば、TOEFLの成績の国別ランキング(2010年)で我が国は 163 か国中 135 位、アジア 30 か国中では 27 位と低迷していること、また、 IMD(スイスの研究教育機関)の世界競争力ランキング(2011年)でも我が国は 59 か国・地域中 26 位と振るわず、特に指標の中の「外国語のスキル」が 58 位となっていること等にも端的に表れている。

図7: TOEFL の成績の国別ランキング(2010年)

<全体順位>(163か国中)

順位	国名	TOEFLスコア
1位	オランダ	100
2位	デンマーク	99
3位	シンガポール オーストリア	98
	:	
80位	韓国	81
	:	
105位	中国	77
	:	
135位	カメルーン、トーゴ、 クウェート、 <u>日本</u>	70
139位	ギニア、シエラレオネ	69
	:	

<アジア内順位> (30か国中)

順位	国名	TOEFLスコア
1位	シンガポール	98
	:	
24位	アフガニスタン、モンゴル、 ベトナム	73
27位	旦本	70
28位	ラオス人民民主共和国	67
29位	タジキスタン	66
30位	カンボジア	63

図8: IMD 世界競争カランキング(2011年)

<全体順位>(59か国・地域中)

日本	26 位

<我が国が強い指標>

•平均寿命	1位
-環境技術	2 位
•研究開発投資	3 位、4 位

<我が国が弱い指標>

大小国/37 日宗/	
·携帯電話料金	59 位
・外国語のスキル	58 位
·依存人口比率	55 位

出典:IMD ランキング 2011

出典:ETS-Test and Score Data Summary for TOEFL Internet-based and Paper-based Tests JANUARY 2010-DECEMBER 2010 TEST DATA

○ ④⑤レベルの人材を育成する上では、比較的若いうち(10~30 歳代まで) に留学や在外経験をした上で、(大学・大学院や職場での)更なる研鑽を積む という経路が有効であることは否定し難い。この見地から、特に大学入試 と企業採用について、従来の発想及び制度から大きく脱却することが喫緊の課題だと考える。

## (2) グローバル人材の育成及び活用に向けた諸課題

- 前述のとおり、グローバル人材の概念に包含される要素は幅広いものの、企業に対するアンケートによれば、2012 年(平成 24 年)時点でのグローバル人材(前述の③④⑤レベル相当)の現在数は(日本人・外国人合計で)約 168 万人程度と推計される。一方、5 年後の 2017 年(平成 29 年)時点では約 411 万人程度が必要となることが推計されており、約 2.4 倍もの需要増が見込まれる。また、5 年後の時点ではグローバル人材の候補者としての新卒採用が約 18 万人程度となるものと推計されている。その他、人材需要を満たす手法としては、中途採用や研修(OJT)等による人材育成・活用が考えられる。
- あらためて言うまでもなく、国内外のグローバル化の流れはその速度を不可逆的に増している。グローバル人材に対する経済的社会的な需要・期待は、この 1 年程度のわずかな間に限ってみても、我が国社会のトップ・リーダーとしての期待から、新興国をはじめとする国境を越えた市場の拡大や海外での現地生産の強化、中堅・中小企業の海外展開等に対応した厚みのある中核的・専門的人材層の需要へと急拡大する様相を呈しており、現在もなおその過渡期と見ることができる。
- こうした状況の中、1992 年(平成 4 年)の 205 万人をピークに急減していた我が国の 18 歳人口は、2012 年(平成 24 年)現在では約 119 万人となっており、今後約 10 年間は 110~120 万人程度の規模で横ばいの推移をするものと予測されている。
- この期間のうちに、若い世代では、同一年齢の者のうち約 10%(即ち約 11 万人程度)が概ね 20 歳代前半までに 1 年間以上の留学ないし在外経験を有し、前述の④⑤レベルのグローバル人材の潜在的候補者となっていることが通常の姿となることを目指したい。また、前述の③レベルのグローバル人材についても、相当程度の厚みのある人材層を形成することが必要となろう。
- そのためには、実践的な英語教育の強化やグローバル化に対する理解促進を図ること等を通じて留学・在外経験を目指す若い世代を増やすとともに、親の海外駐在に伴う在外経験、高校生や大学生等の留学、企業若手社員の海外経験等、若い世代が様々な機会を捉えて外に出やすい環境を整えていかなければならない。

- 以上のような姿を目指して、今後、グローバル人材の育成・活用を図っていく上では、
  - ・英語教育の強化、高校留学の促進等の初等中等教育の諸課題
  - ・大学入試の改善等の大学教育の諸課題
  - ・採用活動の改善等の経済社会の諸課題

等について、ひとり政府・行政関係者のみならず、高校関係者・大学関係者・企業関係者・保護者等多くの関係者が、同時並行的に連動して具体的方策に取り組むことが不可欠である。

○ なお、昨今のグローバル化の進展とグローバル人材に対する需要(量的のみならず、質的にも裾野が急速に拡大)の高まりに見られるように、経済・社会・雇用情勢とそれに応じた人材需要は、絶え間なく変転することがむしる常態となっており、教育・人材育成との間に様々な面で一定の乖離(ミスマッチ、タイムラグ)が生じてしまうことは構造的に避け難くなる一方である。しかし、(「流行」に対する「不易」としての要素が教育に求められることは前提としつつも、)この乖離を可能な限り小さくする恒常的な努力の重要性が増していることも論をまたない。

☆グローバル人材の現在数(年代別・男女別等)と将来目標に関する定量的イメージづくりやグローバル人材育成の将来目標達成のためのロードマップ(例えば 5年後等)づくり(産業分野別・対応言語別等)を更に継続する。 【文、経】

☆グローバル人材を含めた、教育と雇用の構造的な乖離(ミスマッチ、タイムラグ)の解消に向けて、関係各省が縦割りを超えて、関係審議会等での問題意識の 共有や対応策の情報交換等を行う。 【文、厚、経】

## (資料7) 本学およびコミュニケーション学部就職率推移(2015~2019年度)

2019		2019		卒業者数	進路判明数	(判明率)	就活せず	就職決定数	卒業生 就職率	希望者 就職率
大学全体		1,389	1,331	95.8%	75	1,214	87.4%	96.7%		
	男	965	919	95.2%	56	830	86.0%	96.2%		
	女	424	412	97.2%	19	384	90.6%	97.7%		
コミユ		221	210	95.0%	16	191	86.4%	98.5%		
	男	107	102	95.3%	8	93	86.9%	98.9%		
	女	114	108	94.7%	8	98	86.0%	98.0%		

2018		卒業者数	進路判明数	(判明率)	就活せず	就職決定数	卒業生 就職率	希望者 就職率
大学全体		1,337	1,297	97.0%	74	1,173	87.7%	95.9%
	男	1,014	982	96.8%	58	885	87.3%	95.8%
	女	323	315	97.5%	16	288	89.2%	96.3%
⊐≷≖		205	202	98.5%	14	181	88.3%	96.3%
	男	111	109	98.2%	10	94	84.7%	94.9%
	女	94	93	98.9%	4	87	92.6%	97.8%

2017		卒業者数	進路判明数	(判明率)	就活せず	就職決定数	卒業生 就職率	希望者 就職率
大学全体		1,451	1,396	96.2%	80	1,265	87.2%	96.1%
	男	1,062	1,016	95.7%	55	917	86.3%	95.4%
	女	389	380	97.7%	25	348	89.5%	98.0%
コミュ		216	204	94.4%	11	190	88.0%	98.4%
	男	121	114	94.2%	6	106	87.6%	98.1%
	女	95	90	94.7%	5	84	88.4%	98.8%

2016		卒業者数	進路判明数	(判明率)	就活せず	就職決定数	卒業生 就職率	希望者 就職率
大学全体		1,340	1,313	98.0%	64	1,176	87.8%	94.2%
	男	938	922	98.3%	45	822	87.6%	93.7%
	女	402	391	97.3%	19	354	88.1%	95.2%
⊐≷ユ		203	201	99.0%	9	184	90.6%	95.8%
	男	85	84	98.8%	5	76	89.4%	96.2%
	女	118	117	99.2%	4	108	91.5%	95.6%

2015		卒業者数	進路判明数	(判明率)	就活せず	就職決定数	卒業生 就職率	希望者 就職率
大学全体		1,351	1,320	97.7%	84	1,157	85.6%	93.6%
	男	996	971	97.5%	70	840	84.3%	93.2%
	女	355	349	98.3%	14	317	89.3%	94.6%
コミュ		187	186	99.5%	7	170	90.9%	95.0%
	男	95	94	98.9%	4	86	90.5%	95.6%
	女	92	92	100.0%	3	84	91.3%	94.4%

## (資料8) コミュニケーション学部およびグローバルコース所属生就職業界実績(2015~2019年度、2018~2019年度)

コミュニケーション学部 ()内は女子内数

<u> _1:</u>	ュニケーション	学部														() 内(	女子内致
	業種名	1		2019			2018			2017			2016			2015	
農	水	産	0	(0)	0.0%	0	(0)	0.0%	0	(0)	0.0%	0	(0)	0.0%	1	(1)	0.6%
建	設	業	4	(3)	2.1%	8	(3)	4.4%	4	(2)	2.1%	6	(3)	3.3%	8	(4)	4.7%
製	造	業	13	(7)	6.8%	14	(7)	7.7%	24	(14)	12.6%	26	(20)	14.1%	19	(4)	11.2%
I	ネルギ	一業	1	(0)	0.5%	0	(0)	0.0%	0	(0)	0.0%	1	(1)	0.5%	0	(0)	0.0%
情	報 通 信 カ	改送 業	28	(15)	14.7%	38	(24)	21.0%	28	(7)	14.7%	24	(15)	13.0%	25	(12)	14.7%
運	輸 · 倉	庫 業	7	(4)	3.7%	6	(0)	3.3%	5	(0)	2.6%	4	(0)	2.2%	4	(1)	2.4%
卸	売	業	28	(14)	14.7%	26	(10)	14.4%	16	(8)	8.5%	16	(7)	8.7%	16	(8)	9.4%
小	売	業	29	(16)	15.2%	16	(6)	8.8%	16	(6)	8.5%	31	(15)	16.8%	30	(21)	17.6%
金	融 • 保	険 業	10	(4)	5.2%	13	(5)	7.2%	13	(8)	6.8%	20	(14)	10.9%	7	(4)	4.1%
不	動	産 業	12	(7)	6.3%	15	(8)	8.3%	20	(10)	10.5%	11	(5)	6.0%	14	(6)	8.2%
サ	<b>–</b> Ľ	ス 業	53	(27)	27.7%	41	(24)	22.7%	62	(28)	32.7%	39	(27)	21.2%	43	(22)	25.3%
公	務	員	5	(0)	2.6%	4	(0)	2.2%	1	(0)	0.5%	6	(1)	3.3%	2	(0)	1.2%
不		明	1	(1)	0.5%	0	(0)	0.0%	1	(1)	0.5%	0	(0)	0.0%	1	(1)	0.6%
合		計	191	(98)	100.0%	181	(87)	100.0%	190	(84)	100.0%	184	(108)	100.0%	170	(84)	100.0%

グローバルコース所属生

業種名		2019			2018	
農水	<b>≧</b> 0	(0)	0.0%	0	(0)	0.0%
建設	美 1	(1)	1.7%	1	(0)	2.6%
製造	<b>≰</b> 4	(1)	6.7%	3	(2)	7.7%
エネルギー	美 1	(0)	1.7%	0	(0)	0.0%
情報通信放送	<b>≰</b> 3	(3)	5.0%	10	(8)	25.6%
運輸・倉庫	美 7	(3)	11.7%	1	(1)	2.6%
卸 売 氵	€ 6	(2)	10.0%	4	(1)	10.3%
小 売 ၨ	<b>≰</b> 9	(5)	15.0%	5	(3)	12.8%
金融 • 保険 🤅	<b>≰</b> 3	(0)	5.0%	3	(1)	7.7%
不動産	€ 2	(1)	3.3%	5	(3)	12.8%
サービス	€ 22	(7)	36.7%	6	(3)	15.4%
公務 舅	2	(0)	3.3%	1	(0)	2.6%
不	月 0	(0)	0.0%	0	(0)	0.0%
合	+ 60	(23)	100.1%	39	(22)	100.0%

## (資料9) 2017年度キャリアセンター企業ヒアリングにおける人材期待の具体例

インタビュー日	企業業種	具体的回答
2017/11/29	情報処理	英語・トーイックはソフトの英文があるので、読解力があると大いに参考になる。
2017/12/4	情報処理	英語・トーイックは会社幹部になるには必要要件なので、PRは大いに歓迎する。
2017/12/22	旅行代理店	英語・トーイックは700点位あると大いに参考になる。
2018/1/9	メーカー	英語・トーイックは神戸に海外支援部があり、大いに参考にする。
2018/1/16	メーカー	英語・トーイックは海外ビジネスも活発化しているので、関心がある。
2018/1/18	旅行代理店	英語・トーイックは役員面接では関心があり、質問される場合がある。
2018/2/6	通信・情報処理	英語・トーイックは、英語版ソフトの資料が多々あるので、近年大いに関心がある。
2018/3/19	メーカー	英語・トーイックは、海外展開があるので大いに参考にする。近年は海外留学経験者の採用もある。
2018/3/19	メーカー	英語・トーイックは大いに参考にする。インドなどアジア展開があるので、英語力を期待。